

# 付 表

## まちの将来像

# 幸せ実感都市 『ながの』 ～“オールながの”で未来を創造しよう～

人口減少社会、成熟社会が到来した現在、本市が有する強みを活用しながら、抱える課題を可能性に変え「長野市らしい魅力ある」まちとして、歩み続けていくことが必要となっています。

価値観が多様化し行政課題が複雑化していますが、住民の福祉の増進を図るとともに、本市の多様性ある構成や成り立ち・特性を踏まえた地域づくりを進め、市全体の「幸せ」の総和の拡大を目指していくことを「幸せ実感都市」と表しています。

また、副題として市民が本市への誇りを胸に未来への希望を実感できるよう、全市を挙げてまちづくりに取り組むことを「“オールながの”で未来を創造しよう」と表現しています。

## 都 市 宣 言

### 1 明るい選挙都市宣言（昭和 43 年 3 月 26 日）

選挙は民主政治の基礎であり、民主政治の健全な発展のためには、選挙が公明かつ適正に行われなければならない。近時明るく正しい選挙運動が推進されて次第にその実績が上げられつつあるが、なお遺憾の点も少なくない。

我が長野市は、合併以来建設計画に基づき理想の広域都市を目指してその実現にまい進しているが、真に住民の希望の結集できる選挙が明るく正しく行われることによって、その目標に到達できるものと信ずる。

あたかも本年は明治 100 年の意義ある年である。民主政治を進展し、県都にふさわしい明るく正しい選挙を通じて真の民主政治の道確立するため、ここに長野市を「明るく正しい選挙都市」とすることを宣言する。

### 2 スポーツ都市宣言（昭和 50 年 6 月 15 日）

健康な心、健康なからだ、これは古代より人間の求めてやまない願いである。

私たち長野市民は、スポーツを愛し、スポーツを通じて健康な心とからだをつくり、豊かで明るい長野市を築くため、ここにスポーツ都市の宣言をする。

- 1 スポーツを通じてたくましい心とからだをつくろう。
- 1 スポーツ活動を通じて多くの友達をつくり、友情の輪を広げよう。
- 1 スポーツを愛し、広く世界の人々と手をつなごう。

### 3 部落解放都市宣言（昭和 51 年 4 月 10 日）

人間は、だれでも自由と平等を願い、健康で豊かな生活を求めている。この願いが因習や偏見によって、今も差別をされている人々や地域がある。この部落問題の解決こそ、市民全体の課題である。

ここに、部落の完全解放を市民の願いとし、正しい理解と実践により差別をなくし、明るい住みよい長野市を築くため「部落解放都市」の宣言をする。

- 1 部落解放を市民の力で実現しよう。
- 1 市民の正しい理解と認識の下に差別のない明るい社会をつくろう。
- 1 基本的人権を守り部落差別をなくそう。

### 4 福祉都市宣言（昭和 52 年 10 月 9 日）

健康で、文化的な生活を営むことのできる明るい福祉社会をだれもが望んでいる。

私たち長野市民は、人間愛に満ちた思いやりと、相互扶助に基づいたわりの心を養い、豊かで明るい長野市を築くため、ここに福祉都市の宣言をする。

- 1 市民の知恵と、すべての力を集め、人間性豊かな福祉都市の実現に努めよう。
- 1 人と人との触合いを大切にし、一人一人が生きがいを持てる福祉の町づくりに努めよう。
- 1 親切心と、いたわりの心が行き渡る、心の福祉の輪を広めよう。

### 5 青少年健全育成都市宣言（昭和 52 年 10 月 9 日）

次代の日本を担い、明日の長野市を築く者は、青少年である。

青少年が、心身共に健康にして、広い視野と正しい見識を培い、豊かな情操と高い徳性を養い、その誇りと責任を自覚し、能力を十分に発揮して、有為の人材として成長することは、親の責務であり、市民の願いである。

この願いを実現し、青少年の輝かしい未来を開くため、すべての市民がその姿勢を正すとともに青少年の問題について一層の関心を高め、積極的に青少年の育成に努めるよう、ここに決意を新たにして長野市を「青少年健全育成都市」とすることを宣言する。

- 1 市民の英知を結集し、積極的に青少年の育成に努めよう。
- 1 よい環境をつくり、たくましく明るい青少年の育成に努めよう。
- 1 自主性を確立し、連帯性に富む青少年の育成に努めよう。

### 6 平和都市宣言（昭和 60 年 9 月 27 日 制定・昭和 63 年 9 月 12 日 改正）

平和は、我が国憲法の基本原理であり、全市民の共通の念願である。

我々は、平和を愛するすべての都市と共に、核兵器の廃絶をはじめ、非核三原則を厳守し、すべての兵器による戦争の放棄を強く訴え、全世界の恒久平和を希求し、ここに、長野市を「平和都市」とすることを宣言する。

## 7 交通安全都市宣言（平成5年3月23日）

安全で豊かな生活を営むことは、私たちの切なる願いです。

この願いを一瞬にして奪い、平穏が家庭や暮らしを破壊する悲惨な交通事故をなくすことは、重要かつ緊急の課題です。

交通事故をなくすためには、人命尊重を基本理念に、交通環境の整備に努めるとともに、世界に誇れる交通マナーの向上と、交通安全意識の高揚を図ることが最も大切です。

今こそ、すべての市民が一丸となって、かけがえのない命を守るために、自らが交通事故防止に努め、安全なまちづくりに取り組む決意を新たに、交通事故ゼロへの願いを込めて、ここに長野市を「交通安全都市」とすることを宣言します。

## 都 市 ブ ラ ン ド デ ザ イ ン「ロゴ」



長野市では、将来にわたって「選ばれる都市」となるため、本市の魅力や価値を「都市ブランド」としてまとめました。その都市ブランドのイメージを形にした「都市ブランドデザイン」が、市民の皆さんのご協力のもと令和5年11月22日に完成しました。

メッセージ（タグライン）：FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

長野市の空気に触れる。そこでどう感じるかは人それぞれ。

雄大な自然の豊かさに、安らぎを得るかもしれない。

風情を感じる街並みに、自分の「好き」を見つけるかもしれない。

人々が紡ぎ出す営みに、刺激を受けて動きだそうとするかもしれない。

どんな感じ方でもいい。

それぞれが長野市を自由に味わい、それぞれの生き方が肯定されていく。

その中で、自分らしく自然体に生きる人を増やしたい。

そんな思いがメッセージに込められています。

## 長野市の歴史

西暦	年 月 日	おもなできごと
1868	慶応4年9月8日	明治に改元される。 善光寺領に長野村・箱清水村・平柴村・七瀬川原村、松代領に腰村・妻科村・茂菅村など、松代藩預領に権堂村、椎谷領に問御所村、松代領・椎谷領の混在に中之御所村等々が存在する。
1870	明治3年10月…… この年……	善光寺領が松代藩領に編入される。 伺去真光寺地籍で油井掘りに成功する。
1871	4年2月11日  29日 3月…… 6月22日 7月14日 8月…… 11月20日 11月……	大政官布告により、善光寺領4か村と松代藩預領の権堂村は中野県管轄となる。 松代領に編入された善光寺領の長野村・箱清水村などと松代藩預領の権堂村は中野県に移管される。 中野県出張所を長野に置く。 中野県庁を中野より長野に移し、中野県を長野県と改称が認可される（7月25日に引越し、翌日開庁）。 廃藩置県が布告され、松代藩等12藩はみな県と改称し、信濃国に14県（旧12藩と伊那県・長野県）ができる。 箱清水村・鑪村が戸隠からの引水事業に取り組む（同6年3月に堰掘りが完成）。 14県が廃止され、北信に長野県、南信に飛騨一円を併せて筑摩県が置かれる。 長野県に聴訟課を設け、訴訟・裁判・警察の事務を行う。 長野県が長野県学校（郷学校）を正法寺内に設立する。
1872	5年7月1日	二等善光寺郵便役所を大門町新小路に開設する（のち、新町・西町・栄町・大門町・上後町に順次移転。同8年長野郵便局と改称）。
1873	6年2月23日  7月5日 9月2日 12月5日 この年……	（～27日）徴兵令による徴兵検査が大勸進を会場に行われ、191人が合格する。 長野新報が発刊される（信濃毎日新聞の前身）。 長野県講習所を教員養成の仮教場として大勸進に開く。講習のための児童を募集し長野学校が誕生する。 長野学校を旧宝林院境内（現在の城山小学校付近）に新築し開校する。 丹波島に舟橋ができる。 善光寺が堂庭（同7年に元善町と改称）に小屋掛けを許可する。本建築の店と住居が建つ。
1874	7年7月16日  10月20日 11月15日	区制が大区・小区に改正され、腰と妻科等、長野と箱清水、権堂と問御所等の村々はそれぞれ同じ小区となる。 県庁舎が新築され落成する（現在の信州大学教育学部の地）。 長野村は長野町と改称し、町役場を白蓮坊内に置く（戸数 平民2千165戸・士族3戸、人口 8千73人）。
1875	8年6月17日 8月20日  12月2日  この年……	共立長野病院が長野県病院として大門町に開院する。 大門町旧本陣に長野県第三号長野警察出張所を設ける（同9年9月大本願境内に移転。同10年2月長野警察署と改称）。 長野県師範講習所が長野県師範学校と改称され、長門町の新校舎で開校式を行う（現在の市立長野図書館の地。同16年9月松本へ統合。同19年9月に長野に移転）。 郵便局で為替事務を始める（同11年3月貯金事務も開始）。
1876	9年5月30日  7月…… 8月21日  10月……	長野町と箱清水村が合併し、町名を長野町とする。 権堂村・問御所村・七瀬村が合併して鶴賀村となる。 朝陽学校が石堂にできる（のち後町に移転、後町小学校の前身）。 長野県と筑摩県が合併して長野県となり、長野町は新しい長野県の中心地となる。 長野区裁判所が県庁内に設置され、同年12月に大勸進内に仮庁舎を置く（同10年11月に松本地方裁判所長野支庁と改称、同15年1月長野始審裁判所と改称、長野治安裁判所を併置、長野地方裁判所の前身）。
1877	10年6月……	郵便局運荷馬車会社が、長野～軽井沢間の郵便通送の請負を始める。
1878	11年2月…… 9月8日 12月……	医員講習所を長野県病院内に設置する。 （～10日）明治天皇御巡幸。 長野電信分局を大本願明照殿に設置する。

西暦	年 月 日	おもなできごと
1878	この年…… ……	県庁通りが開通する。 鶴賀新地に遊郭を起工し、権堂の水茶屋を移転する。梅毒病院も設置する。
1879	12年1月4日  3月26日 5月5日  9月30日	郡区町村編制法により、大区にかわって郡が編制され、上水内郡役所が長野町(大勸進内)に置かれる。上水内郡は、長野町・鶴賀村・茂菅村・妻科村・腰村等となり各町村に戸長役場を置く。 第一回通常県会が長野県師範学校講堂で開かれる。 第六十三国立銀行長野支店が開業する(本店松代は、同11年12月に開業。八十二銀行の前身)。 長野町で町会議員選挙を行い44人を選出する(同年10月に初の長野町会が長野学校で開会)。
1880	13年4月17日  6月……  7月……	長野銀行が開業する(県内初の私立銀行。のち長野貯蔵銀行等も認可され開業)。 第十九国立銀行長野出張所が支店に昇格する(本社上田は、同10年に開業。八十二銀行の前身)。 医員講習所が県立病院附属医学校と改称する(同15年7月長野県医学校と改め、長野公立病院は医学校の附属病院。のち長野町ほか4町村連合の公立病院。現在のJ A長野県ビルの地)。
1881	この年…… 14年6月24日 11月10日	長野町の新聞記者らが自由民権の啓蒙活動を行う。 妻科村が南長野町と改称する。 腰村が西長野町と改称する。
1882	15年8月…… この年……	県内各地にコレラが流行し、長野町に検疫所が設けられる。 長野町が衛生費・埋葬墓地設置費を新たに予算化する。
1883	16年3月10日 6月29日  7月……  12月26日	大勸進養育院が開院する。 上水内郡連合町村立上水内中学校を長野県師範学校の旧校舎を利用して設置する(同17年9月県立となり、同19年松本へ移転)。 長野郵便局に駅通出張局を置く(同19年長野通信管理局となり、郵便局と電話局の業務を管理)。 長野監獄本署が、三輪村の長野監獄署を合併し、旭町に新築移転して開署式を行う(同19年10月に長野監獄と改称)。
1884	17年3月12日	県内初の市立教育会の長野教育談会が設立される(同19年に信濃教育会に改組)。
1885	18年4月……  9月……	県令により戸長は官選となり、長野町・鶴賀町・南長野町・西長野町・茂菅村は、連合戸長役場を元善町に置き、小学校も併合される。 第二区検税員長野派出所を設置する(同29年11月長野税務署と改称)。
1886	19年4月1日	町立長野学校は上水内郡第一番学区長野学校と改称し、朝陽学校を南長野支校とする。
1886	4月……  この年……	中野保が師範学校予備校の役割を担う中野塾を開く(昭和4年に閉鎖)。 花咲町通りが開通する。
1887	20年5月1日 10月25日  12月21日	城山館が城山に開館する。 県尋常師範学校を新築して県庁西隣に開校する(現在の信州大学教育学部の地。附属小学校も同年12月に開校)。 県会議事院が落成するも翌朝焼失する。再建のための有志者寄附金を集める(同22年10月に焼失前の位置に再建)。
1888	21年4月…… 5月1日  この年……	信濃銀行が大門町に開業する(大正12年に安田銀行と合併)。 直江津線(現在の信越線)「長野～直江津間」が開通し、長野駅が現在の地で開業する(同年12月に軽井沢まで開通)。 正午の午砲(ドン)を城山で鳴らす(同22年2月狐池一本松・大正2年に旭山に移転)。
1889	22年1月……  4月1日	長野一等測候所を城山に開設し、気象観測と統計業務を開始する(長野地方気象台の前身)。 町村制施行により、長野町・鶴賀村・西長野町・南長野町・茂菅村が合併して、新たに長野町となる(戸数 5千596戸、人口 2万4千529人)。 鶴賀村のうち、七瀬・居町は分かれて芹田村に入る。 戸長役場を町村役場、戸長を町村長と改称する(同年6月樋口兼利が初代長野町長に就任認可)。

西暦	年 月 日	おもなできごと
1889	4月15日	日本赤十字社長野委員会を県庁内に設置する(同23年4月に長野支部と改称)。
	11月1日	大林区署が設置される(大正2年に廃止となり、小林区署に降格。営林署の前身)。
1890	23年2月16日	内閣鉄道局長野出張所器械場(鉄道工場)が創業する。
	5月……	分県反対大会が城山で開かれる。
	9月……	丹波島に木橋ができる。
	11月3日	千歳町通りが開通する。
	11月……	長野始審裁判所が長野地方裁判所と改称し、長野治安裁判所が長野区裁判所と改称する。
	12月3日	中南信の県会議員が県会に移庁建議書を提出し、県会が混乱する。
1891	24年5月4日	東之門町より失火し、伊勢町・岩石町・元善町などが焼失する(59戸、およそ200棟が焼失)。
	6月2日	西之門町より失火し、仁王門・大本願・長野小学校(現在の城山小学校)・院坊の大部分・桜枝町・西之門町・元善町・東之門町などが焼失する(267戸、およそ500棟が焼失)。
1892	25年6月24日	信濃教育会員図書縦覧所を現在の若松町に開設する。
1893	26年4月1日	「軽井沢～横川間」の鉄道が開通し、直江津線「直江津～高崎間」が全通する(高崎で日本鉄道と接続し、東京まで開通)。
	この年……	天然痘が大流行する。
1894	27年3月……	町内各区の消防組を廃止し、公設消防組を設置するための協議会を開く(同年5月までに、大字長野・西長野・南長野・鶴賀などに設置)。
	6月6日	長野尋常小学校の本校と南長野支校に子守教育所が開設される。
	10月29日	長野町役場庁舎が東之門(現在の城山小学校構内)に新築し移転する。
1896	29年4月10日	町立長野高等女学校が県内初の高等女学校として開校する。
1897	30年4月1日	市制施行する(戸数5千523戸、人口2万9千285人。同年7月、初代市長に佐藤八郎右衛門の就任認可)。
	6月4日	県立農事試験場が芹田村若里に設置される。
	この年……	松代・松本・上田・飯田の国立銀行が私立銀行になる。
1898	31年5月11日	茂菅に長野電燈株式会社の発電所ができ、市内に電灯(60kw)が灯る(県内発電所の始め)。
	16日	県町に長野農工銀行が開業する(昭和5年に日本勸業銀行へ合併)。
	9月1日	吉田駅が新設され開業する(現在の北長野駅)。
	11月13日	市役所庁舎が若松町へ新築落成し、移転する。
1899	32年4月1日	県立尋常中学校長野支校が独立して長野県長野中学校となる(長野高校の前身)。
	11月20日	えびす講煙火大会が高土手で初めて行われる。
1900	33年4月15日	私立長野盲人教育所が、長野尋常小学校(のち後町小)内に設置される(同30年に私立盲啞学校と改称。長野盲・ろう学校の前身)。
	5月15日	長野商業会議所の設立が認可される(昭和22年2月に長野商工会議所として再発足)。
	……	皇太子殿下(のちの大正天皇)の慶事記念に城山南面一帯を公園とする(同36年5月に落成)。
	6月11日	長野市立乙種商業学校が、長野中学校で開校式を行う(長野商業高校の前身)。
1901	34年9月……	長野警察署が若松町の市庁舎隣に新築移転する。
1902	35年5月21日	(～24日)皇太子殿下行啓。
	12月15日	篠ノ井線「篠ノ井～塩尻間」が開通する。
	……	上水内郡役所が、立町から県町に移転する(現在の地方事務所の地)。
1903	36年12月……	長野実業銀行が新町に開業する。
	この年……	錦町通り(北石堂町～七瀬間)が開通する。
1904	37年3月31日	鍋屋田尋常高等小学校が設置される。
	4月1日	市立長野病院が日本赤十字社長野支部病院となる。
1906	39年1月31日	長野市農会の設立が認可される。
	12月28日	長野郵便局内で市内電話交換業務を開始する(加入者138名)。
1907	40年5月11日	長野市教育会が創立総会を城山館で開催し、講習会・演説会・通俗講演会などの事業を計画する。
	6月15日	信濃図書館が信濃教育会附属施設として県町に開館する(県立長野図書館の前身)。

西暦	年 月 日	おもなできごと
1907	7月……	市制施行10周年を記念して、市章を制定する。
1908	41年5月10日 9月20日	長野県庁舎が全焼する(大正2年10月に現在の地に新築落成)。 (~11月10日)1府10県連合共進会を城山で開催する。この時にのちの蔵春閣、野外音楽堂がつくられる。
1910	43年4月1日	逓信管理局が設置され、郵便・電信の監督にあたる(大正2年廃止)。
1911	44年5月1日	中央線「長野~名古屋間」が全通する。
1912	45年9月……	長野ガス会社が創業する(大正2年1月よりガスが点灯、昭和20年に東京ガスに合併)。
1913	大正2年3月30日 5月24日 10月9日	長野市水道工事起工式が行われる。 県会議事堂が全焼する(同3年11月新築落成)。 寿町(現在の県庁東門通り)・相生町(表権堂通りまで)・大正町(現在の昭和通り)の三新道路の開通式を行う。
1914	3年4月1日 5月29日 7月1日	加茂尋常小学校が開校する。 松井須磨子(芸術座)が城山の三幸座で「復活」を公演する。 県商品陳列館が城山に開館する(現在の長野県立美術館の地)。
1915	4年4月1日 10月…… 11月10日	上水道の給水を開始する(2千615戸、約1万3千人)。 市章を改正する。 城山に西洋式庭園と噴水が完成する。
1916	5年5月……	「長野~高府(現在の小川村)間」の乗合バスの運行が始まる。
1917	6年4月1日	市制施行20周年記念式典等を行う(城山に雪見形石灯籠・春日灯籠を各1基設置、『二十年間の長野市』を発刊)。
1918	7年3月30日 4月1日	善光寺仁王門の落慶式を行う(仁王像は翌年設置し開眼式を実施)。 県立工業学校が中御所(現在のバスターミナルの地)に開校する(長野工業高校の前身)。
1919	8年4月1日	長野市立実科高等女学校が私立実科女学校を受け継いで開校する(皐月高校の前身)。
1920	7月4日 9年4月1日 10月1日	(~7日)皇太子殿下(のちの昭和天皇)行啓。 市内の小学校を一校組織とし、長野尋常高等小学校が発足する。従来の小学校は、それぞれ部校となり、高等科は後町部に置かれる(同15年4月に5校が独立)。 第1回国勢調査を実施する(戸数 7千835戸、人口 3万7千308人)。
1921	10年5月5日 8月6日 8月……	長野職業紹介所を市役所内に設置する。 貯金局長野分室が設置される(長野貯金事務センターの前身)。 市内に初めて乗合バスが運行される。
1922	11年4月1日	県蚕業試験場が岡田に設置される。
1923	12年4月1日 7月1日 9月1日 11月25日	長野尋常高等小学校山王部が開校する。 上水内郡組合立東部農学校が県立に移管され、上水内農学校となる(長野吉田高校の前身)。 1町3か村(吉田町・芹田村・古牧村・三輪村)を編入合併する(人口6万人余)。 有限責任長野市庶民信用組合が開業する(長野信用金庫の前身)。 長野電気鉄道株式会社が創立総会を開き、「権堂~須坂間」の鉄道敷設を計画する(長野電鉄の前身、同15年9月に合併して長野電鉄誕生)。
1924	13年12月5日	中央通り改修工事が竣工する(同12年5月着工、幅員10間、工事費135万円)。
1925	14年8月1日 10月28日 12月25日	午砲(ドン)の代わりに電笛(サイレン)にする。 『長野市史』を発行する(同7年に市が市教育会に委託)。 川中島自動車株式会社が自動車営業を申請する(翌年3月に許可を得て営業開始)。
1926	15年6月28日 7月1日 7月10日	村山橋が完成し、長野電鉄「権堂~須坂間」が開通する。 郡役所が廃止され、各郡に連合事務所が置かれる。 市体育協会所有の野球場が城山記念公園北に完成する(昭和4年市営となる)。
1927	昭和2年3月7日 4月1日 5月16日	市制施行記念日を4月1日と定め、市旗を制定する。 市制30周年記念式典を行い、『最近十年間の長野市』の刊行を企画する(同3年5月発行)。 消防組を八部制に統一し、新たに常設消防部を設け自動車ポンプを備える。

西暦	年 月 日	おもなできごと
1928	3年4月15日	長野実業銀行等9銀行が合併して信濃銀行（本店は上田市）となる。
	6月24日	長野電鉄「長野～湯田中間」が全通する。
1929	4年3月5日	県立女子専門学校が認可される（同6年10月に相之木の新設校舎に移転。長野県短期大学の前身）。
	6月21日	信濃教育会館が旭町に落成する。
	9月1日	県立長野図書館が長門町に竣工し、開館式を行う（同54年8月に若里へ移転）。
1930	5年4月1日	柳町尋常小学校が開校する。
	9月3日	市営水泳場が、公認プールとして岡田町に完成する。
1931	6年3月8日	NHK長野放送局が城山に開局する。
	6月3日	六十三銀行と第十九銀行が合併して八十二銀行となる。
1932	7年12月16日	新丹波島橋が鉄橋になり竣工式を行う。
1933	8年5月25日	大峰山の展望道路が失業対策事業として実施され完成する。
1934	9年5月31日	市道長野一ノ鳥居線の道路工事が、失業対策事業として実施され完成する。
	この年……	相生橋がコンクリートの橋となる。
1935	10年5月16日	長野警察署が鶴賀に新築移転する。
	6月22日	国道10号線「丹波島橋～大正町～新田町」の改修工事の竣工式を行う。
	7月9日	国道10号線中御所跨線橋（みすず橋）が完成し、竣工式を行う。
	9月1日	青年学校が6校、市内の実業補習学校と青年訓練所を改編して開校する。
	7日	長野工芸指導所の開所式を行う。
	11月30日	善光寺納骨堂を着工する（同24年4月に落慶供養）。
1936	11年3月15日	長野郵便局電話分室が後町に新築し竣工する（加入者 2千26人）。
	5月14日	長野駅の仏閣型新駅舎竣工式が行われる。駅前の道路拡張工事も完成する。如是姫像が善光寺境内から駅前に移設される。
	11月22日	県立長野図書館が県の中央図書館となって、各地域の図書館（分館）へ貸し出し文庫を開始する。
	11月22日	善光寺白馬鉄道「南長野～善光寺温泉東口間」が開通する（同19年営業停止となりレール接收）。
1937	12年1月22日	長野電灯と信濃電気（本社は須坂市）が合併する（同年4月に長野電気を設立）。
	3月31日	川端尋常高等小学校が川端西沖（現在の櫻ヶ岡中学校の地）に新設される（分散していた児童や職員が揃うのは同年9月、市立長野実科高等女学校も移転併設）。
	10月18日	長野飛行場の工事が始まる（同14年3月に使用許可、敷地 24万4千200㎡、滑走路延長625m）。
1938	13年10月2日	鐘紡長野工場が操業を開始する。
	この年……	ガソリンが不足し、木炭自動車や石油自動車が走る。バスの運行休止も始まる。
1940	15年4月16日	市立中学校が川端小学校内に設置される（同17年4月に市立夜間中学校を併設、同18年1月に現在の南部小学校の地に新築移転）。
	10月1日	長野県醸造試験場が妻科に設置される。
	11月15日	『昭和初十年の長野市』を市が発行する。
1941	16年4月1日	県立長野第二高等女学校が長野県女子専門学校内に設置される（同24年4月に長野西高校に統合）。
	この年……	戦時色が強まり、満蒙開拓青少年義勇軍の送出が増える。米など穀物の配給制も始まる。
1942	17年4月1日	長野電気ほか関係電気会社が、配電統制令により中部電力となる（同26年に日本発送電の一部と統合し、中部電力が発足）。
	18日	長野市に初めて空襲警報が発令される。
	7月1日	長水地方事務所が設置される。
1943	18年4月1日	長野高等工業学校が設置され、同年5月に入学式を行う（同19年4月に長野工業専門学校と改称）。
	この年……	戦況が厳しくなり、他地域への学徒勤労働員や女子の勤労挺身隊動員が決定され、翌19年になると学校の工場化も行われる。
1944	19年10月1日	長野保健所を設置する。
	この年……	都会地の学童集団疎開を受け入れる。

西暦	年 月 日	おもなできごと
1945	20年8月13日	アメリカ軍機が長野などを空襲する。
	11月8日	野尻湖上水道引水工事の認可が出る。
	20日	連合軍が軍政部（後の民事部）鐘紡長野工場を接収して置く。
	この年……	集団疎開児童の復帰が始まる。 一部の国民学校で冬期間のみそ汁給食が始まる（児童が交代で野菜を持参し、保護者が交代で登校して調理）。
1946	21年2月12日	長野市連合婦人会を結成する（以後、生活改善のため簡素化結婚式・物価引き下げ運動・結核予防・浅間山演習地反対運動等を実施）。
	この年……	従業員組合の結成が始まる。 国鉄の列車はダイヤ混乱などのため、通勤・通学・食糧の買出し人・復員者・引揚者などで満員になり、石炭者に乗る人や窓から乗り降りする人も出る。
1947	22年3月31日	老人福祉施設尚和寮（大勸進）の設立が認可される（後に現在の松代の地へ）。
	4月1日	国民学校が廃止され、新制小・中学校が発足する（後町・柳町・川端の3つの中学校が発足）。
		市制施行50周年記念式が城山小学校講堂で実施される。
		『長野市報』第1号が発行される（同31年4月に『広報ながの』と改称）。
	10月12日	（～13日）昭和天皇が長野市を巡幸する。
	11月7日	連合軍提供の給食物資が届き、市内小学校で週3回のミルク給食が始まる（同26年にはパン主食の完全給食を開始）。
	12月20日	長野市公民館を市役所内に設置する（同23年4月に城山の商品陳列館へ移転）。
	この年……	新憲法の施行により、長野労働基準局・長野労働基準監督署・長野労政事務所・長野地方法務局・長野公共職業安定所などが設置される。 農会が解散し、農業協同組合が発足する。 インフレが急速に進み、やみ値が横行し賃金が追いつかない（代用品で節約）。
		P T Aの結成が始まる。
	1948	23年1月14日
3月7日		自治体警察の長野市警察署が発足する（同29年に制度改革により県警長野警察署が発足）。
31日		盲ろう教育の義務教育制が施行され、長野盲学校と長野ろう学校がそれぞれ独立する。
4月1日		新制高校が発足する（旧制長野市立中学校と長野市立高等女学校が統合し、長野市立高校が発足）。
		東部中学校が吉田小学校に併設して開校する（同25年10月に桐原の地に新築移転）。
	6月28日	長野県中央児童相談所が西長野に開設される。
	9月1日	市消防部本部を創設し、市役所本館前と若里に消防職員が常駐する。
	11月20日	えびす講煙火大会が9年ぶりに復活する。
1949	24年2月6日	城山館と蔵春館が全焼する。
	4月1日	（～5月31日）長野平和博覧会を開催する。
	5月31日	信州大学が創設され、長野市に教育学部と工学部が置かれる。
	9月23日	裾花川左岸の中御所九反と岡田地籍の決壊により、市内南部一帯が大被害になる（死者2人、全壊56戸、半壊浸水2千戸）。
	この年……	長野少年保護観察所と長野少年鑑別所を設置する。
1950	25年4月1日	西部中学校が西長野に新築開校する。（同27年2月に西部中学校の鉄筋コンクリート校舎・スチーム暖房・水洗便所の施設が完成）。後町中学校の生徒を収容し、後町小学校が再発足する。
		長野県短期大学が、長野県女子専門学校を改組して発足する。
	6月……	市庁舎を改築する。
	8月1日	長野鉄道管理局が設置される。
	9月21日	P T A母親文庫が県立長野図書館の貸出本の回覧読みを始める。
	10月3日	アメリカ図書館が公民館を改造して開館する（同27年5月に長野アメリカ文化センターと改称。同28年12月に長野日米文化センターと改称）。
	この年……	柳町に県営アパートが一棟建てられる。

西暦	年 月 日	おもなできごと
1951	26年4月1日	裾花小学校が中御所に新設開校する。
	6月2日	「長野～飯田間」に直通バスの運行を開始する。
	8月……	裾花と三輪の市営住宅に入居希望者が殺到する。
1952	27年1月14日	新潟県との水利協定が調印され、野尻湖引水問題が解決する。
	3月25日	信越放送（SBC）が開局する。
1953	28年3月27日	善光寺本堂が国宝に指定される。
	4月1日	長野市水道公社を設置する（同35年4月に水道局を設置）。
	7月20日	老人福祉施設松寿荘が上松に開設される。
	8月3日	下水道管布設工事を着手する（同29年11月に川合新田汚水処理場の建設に着手）。
1954	29年3月……	県内初の自動交通信号機が中央通りと昭和通りの交差点に設置される。
	4月1日	近郊10か村（古里村・柳原村・浅川村・大豆島村・朝陽村・若槻村・長沼村・安茂里村・小田切村・芋井村）を編入合併する（世帯数 2万9千839世帯、人口 14万7千799人）。
	2日	市営観光館を城山館跡地に開設する。
	11月6日	東京電力小田切・笹平ダムが完成する。
1955	30年4月1日	上水道野尻湖引水工事の竣工式を行う（若槻に蚊里田浄水場を設置）。 城東小学校が三輪に新設される（11月に校舎が完成して開校）。 三陽中学校が高田に新設開校する。
	5月8日	市営野外劇場が城山堀切沢南側に完成する。
	5月……	若槻小・中学校が、若槻病院入院の児童・生徒を対象に院内教育を始める（同31年に分室設置。若槻養護学校の前身）。
	10月1日	総合職業補導所が吉田東町に開設される。
	31年7月10日	飯綱高原が国立公園に編入される。市は、一ノ鳥居苑地の管理を引継ぎ、大座法師池近辺にキャンプ場等を設ける。
1956	9月……	長野営林局が福島町から栗田に移転する。
	12月……	長沼地区に有線放送市内第1号が生まれる。
	32年3月……	長野西高校通信制課程が初の卒業生を送り出す。
	4月1日	川合新田でし尿処理を開始する。
	20日	市制施行60周年記念式典に併せて長野市歌を制定する。
1957	4月……	国民健康保険事業を市全域で実施する。
	9月1日	NHK善光寺サテライト局が本放送を始める（同33年11月に信越放送も放送開始）。
	33年4月1日	東北中学校が大町に開校する。
	5月……	緑町北高線「善光寺下踏切～長野高校脇間」の道路が開通する。
1958	34年3月……	し尿の市営くみとりが始まる。 アメリカフロリダ州クリアウォーター市との姉妹都市提携が成立する。
	4月1日	裾花中学校が安茂里米村に、北部中学校が浅川屋敷田にそれぞれ新築開校する。
	6月13日	長野刑務所跡に合同庁舎の建設が決まる。
	11月1日	公共下水道の供用が始まる。
1959	12月13日	「長野～名古屋間」でディーゼル急行の運行を開始する。
	35年11月11日	長安橋が完成する。
	11月……	長野盲学校が北尾張部に新築移転する（同42年3月に盲人用歩道橋が完成）。
	12月……	城山公園の噴水を整備する。
	この年……	中央通りにアーケードが、権堂町にネオンアーチと街路灯が完成する（同36年4月に権堂商店街のアーケードが完成）。
1960	36年3月20日	善光寺ロープウェイを設置し、地附山山頂へゴンドラの運転を開始する。
	4月1日	長野養護学校が徳間に開校する。
	8日	（～5月21日）長野産業文化博覧会が開かれる。
	9月4日	長野市民会館の開館式を行う。 長野市商店街の一斉休業が本格化し、第1・3月曜日に実施する。

西暦	年 月 日	おもなできごと
1962	37年5月16日	通産省が長野木工団地を中小企業工場団地に指定する(同40年7月に13万㎡に16企業の工場ができて完成)。
	5月……	「柳町～北長野駅間」の道路が開通する。
	8月……	長野高校が夏の甲子園に42年ぶりに出場する。
	10月25日	松岡清掃工場の竣工式を行う(同57年まで稼働)。
1963	11月1日	大峰城展望台の建設が決まる(同38年4月に開館)。
	38年4月1日	市立第二高校普通科の設置が認可され、川端の市立高校に併設し開校する(同39年6月に徳間へ新築移転)。
		国立長野工業高等専門学校が発足する(同39年4月に旧若槻中学校の仮校舎から徳間の新校舎へ移転)。
1964	7月25日	信越線「長野～軽井沢間」の電化が完成し、電車運転を始める。
	39年5月16日	天皇・皇后両陛下が長野市を巡幸する。
	7月15日	長野少年補導センターが三輪田町の社会福祉会館内に発足する。
	9月16日	戸隠バードラインが全線開通となり、開通祝賀式を行う。
1965	10月3日	(～4日)東京オリンピック聖火が市内を通過する。
	40年2月1日	長野県赤十字血液センターが長野赤十字病院内に開設される。
	4月1日	市内で最初の児童館を小田切に設置する。
	5月29日	善光寺山門と経堂が重要文化財に指定される。
	8月3日	松代群発地震が発生する(同45年末までに64万8千回余。同42年5月に松代地震センターが開所)。
	10月18日	新市庁舎(旧第一庁舎)が完成し、落成式を行う(鉄骨鉄筋コンクリート造り、地下1階、地上8階、延べ面積 1万1千304㎡、工事費 6億円)。
1966	41年2月17日	第一学校給食センターが古牧中村に完成し竣工式を行う。
	3月18日	国道18号線の九反地籍に歩道橋が設置される。
	5月1日	県営野球場が東和田に開設される(同年10月に竣工式)。
	23日	刑務所跡に行政・裁判合同庁舎が完成し、先にできた法務庁舎を中心に一大官庁団地が出現する。
	8月12日	長野市トルコ風呂設置反対期成同盟会や各種団体が集まって設立され、世論を喚起し多方面へ運動を展開する。
	9月10日	青少年の家を旧市庁舎に開設し、開館式を行い開放する。
	9月……	国道18号バイパス「長野～牟礼間」が完成する(同34年12月に着工)。
	10月1日	信越線「長野～直江津間(75km)」の電化が完成し、「長野～上野間」に電車特急の運行を始める。
		信濃美術館が城山の旧日米文化センター跡に完成し開館する。
	16日	長野市・篠ノ井市・松代町・若穂町・川中島町・更北村・七二会村・信更村の2市3町3か村が合併し、新長野市が誕生する(面積 404.10km <sup>2</sup> 、世帯数 6万6千719世帯、人口 27万2千409人)。
1967	11月21日	千曲川と犀川の合流点に県内最長の落合橋が完成し竣工式を行う(延長 948.25m、工事費 3億9千760万円)。
	27日	長野電話局石堂分局の完成により市内6局番が誕生し、市外電話の即時化が大幅に拡大される。
	12月9日	長野県身体障害者福祉センターが下駒沢に完成し、翌年1月に開設する。
	21日	小市橋が永久橋として竣工する。
	47年2月6日	県庁舎本館が完成し、県内一の高層ビルとなる(地下1階、地上10階、塔屋2階、工事費 26億6千万円)。
	3月3日	篠ノ井市民会館が完成し、開館式を行う。
	4月1日	市制施行70周年を記念し、新しい市章と市歌が制定され、記念式典の席上で発表される。
	21日	県内で最初のバスターミナルが、長野工業高校跡に完成する。
5月2日	し尿の処理場施設(衛生工場)が川合新田に完成する。	
5月……	蔵春閣が城山に完成する。	
8月……	更北市民センターが完成する。	
	県厚生連篠ノ井病院が完成する。	
	陣場平高原に水道が布設され開発が進む。	

西暦	年 月 日	おもなできごと	
1967	10月 1日	北長野貨物基地が完成し、コンテナ輸送を始める。 交通災害共済制度が始まる。 市政番組「もしもし市長さん」が毎月第1金曜日に信越放送（SBCラジオ）の電波に乗る。	
	20日	目でみる市政、「施設見学会」が始まる。	
	11月 1日	市文化財保護条例により49件を市文化財に指定する。 結核予防センターが完成する。	
	11月……	原市場の県道430mが舗装され、信更地区の舗装第1号となった。	
	12月……	丹波島堤防に「緑の羽根募金園」ができる。	
	1968	43年1月 1日	若穂に8万3千㎡の県営住宅団地ができる。
		20日	国民健康保険の家族7割給付が実現する。
		3月 1日	「手をつなぐ親の会」が精神薄弱者（児）の保護者によって発会する。
		5日	松代高校の移転新校舎が西条地籍に落成し、授業を開始する。
		26日	市で初めての養護学級児童・生徒の作品展を開く。
		4月 1日	「明るく正しい選挙都市」の宣言をする。 長水地方事務所が長野地方事務所と改称し、更級郡も管轄下になる（更級地方事務所は廃止）。 国民健康保険が全市一本化し、結核患者は10割給付となる。 市立高校と市立第二高校が統合して皐月高校として徳間に開校する。 川端中学校と南部中学校が統合して櫻ヶ岡中学校となる。 10マイル公認コースとして「市役所前～柳原消防分署前」が、日本陸上競技連盟から正式に認められる。
5月 19日		第1回少年スポーツスクールを開設する。	
20日		「信濃の国」が県歌に制定される。	
22日		長野地区平坦部にヒョウが降り、果樹やそ菜に大被害がでる（のち、被害農家1戸あたり20万円の融資決定）。	
6月 1日		戸籍謄本など窓口事務の一部の電話や郵便での受け付けが始まる。	
25日		主要地方道「白馬長野線」43.5kmの開通式が行われる。 果樹保険が発足し、大豆島を試験地に指定する。	
7月 22日	市青少年室は青少年の愛育運動の一つとして、帰宅時刻を知らせる愛の鐘の歌を市内全有線放送で流し始める。		
27日	南長野電話交換所ができ川中島局を集中する。松代電信電話局も直営化し、自動化する。		
8月……	信里・信田の両地域が、県の「和牛増殖と肥育の地域」に指定される。		
9月 19日	県道長野真田線が赤柴一地蔵峠間の改良によって全通し、開通式が行われる。		
10月……	信里中学校の完成によって、市内全中学校の給食が実現する。		
11月 15日	市民課窓口事務の昼休み取扱いを始める。		
18日	（～20日）第1回農業祭が市民会館・蔵春閣・後町小学校などで開かれる。		
この年……	都市計画街路県庁一大門線の全面舗装が完成する。		
1969	44年1月 1日	『広報ながの』の点字版の発行を始める。	
	2月 21日	裾花ダムが完成し（総工費33億円）、水をためる式を行う（5月発電開始。市水道局は下流の湯ノ瀬ダムで上水道用水を取水）。	
	3月 5日	松代群発地震の震源域を直接調べる深層ボーリングが、国立防災科学技術センターによって始まる。	
	4月 1日	湯谷小学校が湯谷地籍に新設開校する。 長野放送（NBS）が中御所岡田に開局し、UHF放送を始める。 水道料金の徴収を2ヶ月に1回に改める。 し尿のくみ取り料金が定額制になる。 市児童扶養手当を新設し、16歳未満の4人目の児童に支給する。	
	7日	七二会支所と農協の合同庁舎が完成し、業務を始める。	
	21日	新しい篠ノ井支所庁舎が完成し、業務を開始する。	
	5月 10日	妻科公園に子どもたちの交通教室広場ができる。	
	6月 12日	真田宝物館が旧松代高校の一部校舎を利用して開館する。松代観光センターも松代高校跡地に完成する。	
	7月 26日	（～27日）集中豪雨で市内の道路・河川・農作物・住宅・水道施設などに3億2千万円の被害がでる。	

西暦	年 月 日	おもなできごと
1969	8月1日	水道料金の口座振替が可能になる。
	9月6日	青少年山の家を陣場平・地藏峠・小山田の池に開設し使用を開始する。
	10月1日	大峰山に新しい斎場が完成し使用を開始する。
	9日	駅周辺の区画整理事業の工事が始まる。
	11月1日	松代町の衆議院選挙区が長野県第1区に編入される。
1970	2日	長野大橋が開通する（幅22m。4車線で歩道・中央分離帯つき、費用約19億円）。
	45年3月……	米の生産調整が行われ、長野市には1千674t、340haの減産目標が配分される。
	4月1日	吉田地区で新しい住居表示を実施する。
	2日	第二学校給食センターが篠ノ井東福寺に開設される。
	4日	昭和38年から進められてきた国営長野平農業水利事業が完成する。
	6日	長野中央公民館の改築が完成する。
	18日	善光寺日本忠霊殿が完成し落慶法要を行う。
	22日	個人タクシー7人の営業が許可される。
	25日	国民健康保険10割給付の対象年齢を83歳から80歳に引き下げる。国民宿舎松代荘の一部を「老人いこいの家」として、60歳以上の人に開放する。
	4月……	山王小学校内に「言語障害児教室」を新設する。県下初めての「訪問学級」が始まる。林業構造改善事業が始まる。
		小体育館のある川中島公民館が、川中島支所の南側に完成する。
	5月3日	県内初の歩行者天国が中央通りで始まる。
	5日	「篠ノ井橋～村山橋間」19.2kmのサイクリング道路の開通式を行い利用が始まる。
	6月1日	バスターミナル内に市民課分室を設置し、複写電送による窓口事務を始める。
	20日	飯綱湖の北に「飯綱高原学校」を開設する。
	7月15日	市内21の有線放送電話が一本化する。
	17日	長野市と須坂市を結ぶ屋島橋が永久橋に架け替えられて開通する。
	9月16日	松代の寺町保育園が馬場町に移転改築して開園式を行う（10月1日象山保育園と改称）。
	10月27日	信濃路自然歩道戸隠飯綱高原ルート（大座法師池～戸隠奥社入口）が開通する。
	11月1日	篠ノ井局・松代局が長野局に合併し、市内通話区域になる。
	21日	小田切総合庁舎が川後に完成し支所・公民館・診療所の業務を始める。
	22日	長野市公害防止条例が市議会で成立する（46年1月には農薬の空中散布を中止と決定）。
	12月4日	新清掃工場が松岡に完成する（工事費2億3千400万円、8時間で100tのゴミを処理）。
1971	46年1月25日	X字型横断歩道が昭和通りと中央通り交差点に設置され、全国のトップを切って実施する。
	28日	長野都市計画の市街化区域と市街化調整区域が決まる。
	2月1日	松代公民館が殿町に竣工する。
	3月……	『長野市の文化財』が教育委員会から発刊される。
	4月1日	南部小学校を鶴賀に新設開校する。若槻養護学校が独立して県立となって開校する。老人医療付加給付金を80歳から75歳に引き下げ、新たに身体障害者の医療費特別給付金制度を実施する。特別敬老年金（寝たきり老人に支給）を70歳から65歳に引き下げる。市民サービス係（すぐやります係）ができる。大峰城を中心に110.8haの区域が自然休養林に指定される。し尿浄化そう維持管理条例を施行する。
	2日	若穂公民館が綿内に竣工する。
	4月……	篠ノ井東部保育園が東福寺・西寺尾両地区を対象として開園する。
	5月16日	犀川運動場が丹波島橋上流の河川敷に完成し運動場開きを行う。
	21日	柴と小島田を結ぶ更埴橋（526m）が開通する。
	6月13日	新しい城山市民プールが完成しプール開きを行う。
22日	真田信重霊屋（松代町西条西楽寺境内）が重要文化財に指定される。	

西暦	年 月 日	おもなできごと	
1971	7月 6日	移動診療車「さちかぜ号」が発車式を行い診療に出発する。	
	30日	(～8月12日) 第1回長野びんずるが市民祭として市内各所でくりひろげられる。	
	9月 1日	長野地域広域市町村圏協議会を設立する。	
	19日	初の全市一本の大選挙区で、市議会議員の選挙が行われる。	
	24日	清掃法が改正され、産業廃棄物は自家処理をするよう義務づけられる。	
	10月 1日	三輪・上松の両地区で住居表示を実施する。	
	12月10日	安茂里市民センターが安茂里大門に完成し、支所の業務を始める(公民館・小体育館も併設)。	
		体育館も備えた信更公民館が氷ノ田に完成する。	
	1972	47年1月 1日	児童手当(月額3千円)制度が発足する。
		18日	北回り新幹線建設促進長野市期成同盟会を設立する。
21日		新しい篠ノ井橋(457m)が完成し開通式を行う。	
27日		岩野橋(497m)が永久橋になり開通式を行う。	
4月 1日		松ヶ丘小学校が独立して、安茂里小市地籍に開校する。	
		知的障害児童の通園施設「つくし学園」が若穂川田に開園する。	
		篠ノ井・松代の両警察署が統合して長野南署に、また長野署は、長野中央署となる。	
		若槻保育園が若槻団地に、西部保育園が篠ノ井二ツ柳に開園する。	
		スクールゾーンが学童を交通事故から守るため、市内34か所に設置される。	
		市内で二番目の老人いこいの家が篠ノ井石川に開設される(のち、同56年度までに大豆島、茂菅など合計10か所に設置)。	
17日		長野公共高等職業訓練校が、大豆島に移転新築し開校する。	
5月 1日		市民相談室に「ろうあ者相談員」を配置する。	
2日		勤労青年ホームが吉田一丁目に開館する。	
3日		おそ霜のため1千963ha、7億4千700万円におよぶ大きな農作物の被害がでる。	
6月 1日		篠ノ井信里地区に合同庁舎が完成し、連絡所・公民館等の業務を開始する。	
6日		東部地区公民館(874ha)が朝陽北長池地籍に竣工し、同館へ朝陽支所も移転する。	
11日		真島町に県下最大の市民体育館が竣工して開館する。	
18日		犀川の河川敷に、丹波島少年野球場・緑地広場等が完成して野球場開きを行う。	
7月 1日		印鑑制度を改正し、印鑑手帳制度を実施する。	
		裾花川から取水する市水道第4期拡張事業が完成し、給水が始まる(1日4万人分)。	
25日	篠ノ井交通記念館が開館する。		
8月 1日	市営の立体駐車場(四層)が緑町に完成し、利用を開始する。		
9月 1日	赤ちゃん(2歳未満)と重度心身障害者(児)に全額市負担の医療費給付を始める。		
12月 1日	県内初のバス優先レーンが中御所に定められ使用が始まる。		
16日	若槻コミュニティーセンターが竣工する。		
23日	菅平青少年山の家を若穂保科に開設する。		
1973	48年1月 1日	70歳以上の老人医療費を無料化する。	
	2月28日	篠ノ井上石川に上下水道と暖房付養豚団地が完成し、豚の肥育が行われる。	
	3月 1日	長野市土地開発公社を設立する。	
	7日	高層ビル火災対策として、32mはしご車を導入する。	
	4月……	長野市交通共済が中学生以下と生活保護家庭及び身障者で1級から3級までの人の会費を市の全額負担とする。	
	6月20日	寝たきり老人や重度身体障害者を対象に、移動浴槽車無料巡回入浴サービスを開始する。	
	6月……	富士の塔青少年山の家を小田切国見に開設する。	
	7月 1日	飯綱浄水場が完成し、芋井地区へ送水を開始する。	
	10日	臨海学校を能生町(新潟県)で始める。	
	15日	茶臼山市民プールが篠ノ井岡田に完成し、利用を開始する。	
7月……	総合卸商業団地が川合新田に完成する。		

西暦	年 月 日	おもなできごと
1973	8月 1日	長野平地域の排水改良工事が竣工する。 国保若穂歯科診療所が綿内に移転新築され診療を開始する（10月から全日診療）。
	5日	保科温泉市民プールが開設される。
	12日	中央通りの歩行者天国を初めて実施する（9～11月は第1日曜日午後、同49年からは4月から11月まで実施）。
	10月22日	市役所床に盲人用点字歩道タイルを張る（車椅子用トイレは49年2月完成）。
	12月 1日	関崎橋と小笹橋が永久橋に架け替えられる。 日詰児童館が開館する。
1974	49年1月 1日	市税として特別土地保有税が始まる。
	5日	全国で初めて、市民参加による消防出初式が行われる。
	19日	長野市の人口が住民基本台帳法上、30万人を突破する。 野外彫刻賞の第1回の入選作3点の除幕式が行われる。
	3月30日	不燃物プレス工場が大豆島に完成し完工式を行う。
	4月 1日	小中学生の遠距離通学にバス代の全額公費負担を行う。 小中学生の日本学校安全会費の全額公費負担を行う。 篠ノ井西小学校が、旧川柳小学校と通明小学校の一部を学区として新設され開校する。 長野東高校が中御所仮校舎で開校する（50年4月大豆島の新校舎へ移転）。
	2日	安茂里・長沼・信田の各保育園が開園する。
	7日	若穂綿内の河川敷にグライダー場が開場する。
	22日	愛の樹園の篠ノ井分園が開園する。
	26日	老人農園を三才地区に設置する（のち、更北下氷鉋、若里北市、川中島町原などにも設置、同50年からは市民菜園も開園）。
	5月26日	初の市民健康まつりが城山公園を中心に開かれる。
	6月20日	市民会館に車椅子専用施設ができる。
	30日	犀川南運動場が青木島町に開場する。
	6月……	スクールゾーン内の歩行者の交通事故防止のため、市道13路線の最高速度を20km/hに制限する。
	7月28日	市営相撲場が若槻台運動公園に新設され、相撲場開きを行う。
	8月20日	北五明団地住宅40戸の分譲受付を始める。
	10月 2日	長野市盲人会館が若松町の旧庁舎内に開設される。
	31日	「計量特定市」の指定を受ける。 市役所東側入口が体の不自由な人のために自動ドアに改修される。
	12月 6日	青果・水産物の特別奉仕デー制度が始まる。
	24日	長野広域病院（伝染病患者専用）が松代に完成する。
1975	50年2月 7日	長野中央警察署、権堂から北長野通りの三輪一丁目へ移転して業務を開始する。
	3月29日	稲葉住宅団地の宅地の分譲受付を始める。
	4月12日	公害検査センターが川合新田に完成し、開所式を行う。
	17日	市民健康管理センターが若里南市の医師会館一階部分に完成し活動を始める。
	5月 1日	三重モデル公園が古牧北条地区に完成し開放される。
	12日	はじめてのバス専用レーンが県道丹波島篠ノ井線で始まる。
	5月……	身体障害者福祉モデル都市の指定を受ける。
	6月 8日	犀南市民プールが稲里町田牧に完成し開場する。
	6月15日	「スポーツ都市」の宣言する。 長野運動公園総合プールが開設され、通年で水泳教室などを開催する。
	7月21日	稲葉と小島両団地の建売住宅の分譲受付を始める。
	8月12日	松代市民プールが海津城跡の公園に開場する。
	9月11日	若穂に温湯温泉市民センターが開所する。
	27日	信更診療所が全面改築され完成する。
10月21日	浅川小学校が新築移転し開校する。	

西暦	年 月 日	おもなできごと	
1976	51年4月1日	長野地域広域行政事務組合が発足する（平成5年長野広域行政組合に名称変更、12年4月長野広域連合に発展）。 若槻・犀北・青木島・南原に「市民菜園」・「老人農園」を新設する。 東福寺・西寺尾の2つの小学校を統合し、篠ノ井東小学校が新築開校する。 独立公民館6館（城山、北部、東部、南部、西部、中部）が発足する。 松ヶ丘保育園が開園する。	
	10日	「部落解放都市」の宣言をする。	
	24日	市営陸上競技場が長野運動公園に完成し、県春季陸上競技大会が初つかいする。	
	5月17日	篠ノ井中央保育園が移転改築する。	
	20日	真田信之霊屋及び表門が重要文化財に指定される。	
	7月1日	移動図書館車「いづな」の巡回を始める。	
	15日	国民宿舎永保荘が建て直され利用が始まる。	
	18日	第1回不用品交換市を市民会館で開催する。	
	20日	仲俣・梅園・富竹の3か所の宅地分譲の申し込みが始まる。	
	8月1日	（～20日）昭和51年全国高等学校総合体育大会を「自然と友情と躍進と」をテーマに主会場として開催する。	
	10日	上野団地・犀南団地の建売住宅分譲の受付を始める。	
	12日	浅川清水の長野市霊園第1期工事分3千100区画と管理事務所等の完成式を行う。	
	11月8日	市役所2階を増築する。	
	1977	52年3月29日	市内16番目の児童館が若穂川田に完成し、竣工式を行う。
	4月1日	老人医療費の無料化が67歳に拡大する。 柳原小学校が小島に移転新築し、新校舎で授業を開始する（53年3月竣工式）。	
	6日	精神薄弱者授産施設「栗田園」と心身障害児通園訓練施設「愛の樹園」が、旧栗田寮跡地に開園する。	
	7日	市制80周年記念式典を行う（記念事業は市民総合病院の建設・茶臼山自然植物園の建設など）。	
	4月……	城山公民館吉田分館・吉田連絡所の新屋舎が完成し使用を始める。	
	5月1日	電話による夜間緊急医案内が始まる。	
	6月22日	NHK「お国自慢にしひがし」の公開録画が市民会館で行われる。	
	7月5日	上野団地（若槻）分譲住宅の募集が始まる。	
	14日	川柳将軍塚と姫塚古墳が史跡に指定される。	
	27日	茶臼山自然植物園が市制80周年記念事業として構想され開園する。	
	8月6日	テニスコートが長野運動公園（10面）、茶臼山（3面）、保科（1面）に開設される。バレーコートも保科（1面）に開設される。	
	9月10日	安茂里市民プールが開場する。	
	15日	第1回長野市ジュニア体操競技大会を真島の市民体育館で開催する。	
16日	長野市林業センターが芋井上ヶ原麓原に完成する。		
10月2日	新真田宝物館が旧館の北側に開館する。		
9日	「福祉都市」、「青少年健全育成都市」の宣言をする。		
10月……	浅川支所・北部公民館浅川分館の新庁舎が開館する。		
11月7日	若里団地など30区画の宅地分譲が始まる。		
12月16日	松代温泉団地の宅地分譲が始まる。		
17日	信更町三水と信州新町平とを結ぶ平三水橋が開通する。		
1978	53年1月27日	芋井農村環境改善センターが完成する（市役所芋井支所が同建物内に移転）。	
4月1日	65歳以上及び乳幼児5歳未満の医療費を無料化する。		
12日	福祉会館・働く婦人の家が柳町に開館し、高齢者・心身障害者・勤労婦人などが利用する。		
4月……	学校農園が46小・中学校に誕生する。 市内の65小・中学校で米飯給食が取り入れられる。		
5月1日	中央消防署安茂里分署を安茂里小市に、西部分署を七二会に開設する。		
6月27日	県営野球場に夜間照明施設が完成する。		
8月1日	北部市民プールを若槻上野に開設する。		
5日	浅川中央遊園が旧浅川支所跡地に完成して利用が始まる。		

西暦	年 月 日	おもなできごと
1978	8月6日	アスレチック施設「小天狗の森」が飯綱高原大座法師池キャンプ場南に完成し、無料開放される。
	26日	長野運動公園総合体育館の竣工記念行事を行う。
	9月10日	やまびこ国体夏季大会が長野市などを会場に開かれる。
	10月1日	青少年保護育成条例を施行する。
	15日	やまびこ国体秋季大会が長野市など県内各地を会場に開かれる。
	23日	上野団地と犀北団地西住宅用地の分譲が始まる。
	10月……	西ドイツ製スタインウェイグランドピアノを市民会館に設置する。
	11月19日	青少年健全育成市民会議が結成される。
	12月6日	柳原支所・東部公民館柳原分館の新庁舎が、旧柳原小学校跡地に完成し業務を始める。
	この年……	篠ノ井の五明踏切が立体化して完成し利用が始まる。 みずず橋が道路とゆるやかに接続し、幅も2倍になって架け替えられる。 新型のロータリー除雪車、冬に備えて購入し飯綱高原に常駐する。芋井・浅川北部方面に出動を予定する。
1979	54年1月8日	第三学校給食センターを大豆島風間に開設する。
	4月7日	市営三輪体育館が社会体育館第1号として竣工する。
	16日	横断地下歩道が長野大通りと昭和通りの交差点に完成する。
	6月1日	市民小口融資制度が始まる。
	11日	市立南部図書館が更級教育館の跡地に開館する。
	7月……	篠ノ井小松原地籍に不燃物最終処理場が完成する。
	8月1日	車で現地に出向いて青少年に指導をする動く子ども広場すこやか号が活動を始める。
	6日	大豆島東団地50戸の分譲住宅の受付が始まる。
	9月24日	長野市霊園の第2期造成工事が完了し墓地分譲が始まる。
	28日	高齢者事業団が設立総会を開く。
1980	11月5日	大門市民連絡室を大門町の市営物産会館内に開設する。
	12月……	精神薄弱者更生施設のひかり学園が若穂川田のつくし学園の隣に開園する。
	55年1月1日	清野保育園の設立が認可され保育を始める。
	20日	長野大通りの一部が使用開始となる（常盤町通りから昭和通りまで）。
	3月24日	市議会が暴力追放を決議する。
	4月1日	大豆島支所の新庁舎が完成し業務を始める。 小田切農村環境改善センターが小田切山田中に開所する。 浅川青少年山の家が浅川真光寺に完成し開所する。 共和保育園改築工事が完成し、新しい建物で保育を始める。
	27日	篠ノ井体育館が篠ノ井岡田に開館する。
	5月10日	長野市サイクリングターミナルが千曲川左岸の落合橋のたもとにできる。（平成15年に廃止）。
	6月15日	すずかけ広場が旭町地籍に開場する。 在宅老人福祉デー及び老人憩の家巡回カウンセラー制度が発足する。
	7月19日	長野いこいの村アゼリア飯綱が飯綱高原のバードライン沿いに開館する。
1981	7月23日	暴走族追放決議を64の機関・団体が集まって決議する。
	27日	茶臼山自然植物園に恐竜公園が開園する。
	8月11日	松代町城東と大豆島東の分譲住宅（土地付）の受付を始める（10月には宅地の分譲も開始）。
	10月20日	城山公園の花時計が新しくつくりかえられて動き出す。
	11月……	低温・多雨・日照不足により水稻を中心に農作物が昭和29年以来の被害を受ける。
	56年2月1日	加茂保育園が移転して、新園舎が完成する。
	3月1日	長野電鉄地下鉄工事が完成し、長野駅～善光寺下駅間（2.3km）の営業を開始する（錦町駅に代わり市役所前駅を新設）。
	4月1日	徳間小学校が徳間地籍に新設され開校する。 長沼小学校の新校舎が津野に完成し移転する。
	13日	南部勤労青少年ホームが篠ノ井小森に完成し開館式を行う。

西暦	年 月 日	おもなできごと	
1981	4月19日	中国河北省石家庄市と友好都市の締結をする。 大峰城がチョウと昆虫の博物館になる。	
	25日	保健保養訓練センターが松代町東条に完成し開館する。	
	4月……	昨年12月14日からの降雪は豪雪となり4億円の被害となる。	
	5月1日	茶臼山恐竜公園に新たに8体の恐竜を設置し、全部で23体となる。オトギ広場も設置する。	
	18日	消防局の新庁舎が鉄筋コンクリート4階建てで完成し、業務を始める。	
	6月20日	松代町城東と大豆島東の建て売り住宅分譲の受付を始める。	
	29日	行政制度改善委員会（会長森本弥三八）を設置し、行政機構の簡素化・合理化を諮問する。	
	7月13日	上野団地・松代城東・南堀の宅地分譲の受付を始める。	
	7月……	全自動血圧計を本庁2階ロビーと篠ノ井支所市民課に設置する（翌年10か所に増設）。	
	8月1日	東部浄化センターの一部運転を開始し、上松・三輪・吉田・古牧・大豆島などで下水道使用地域が広がる。	
	7日	篠ノ井塩崎四之宮の宅地分譲の受付を行う。	
	22日	日本・中国・カナダ対抗ジュニア陸上競技大会を市営陸上競技場で開催する。	
	23日	台風15号による集中豪雨で、松代・若穂地区で被害が続出する。	
	9月22日	浅川の長野市霊園の近くに浅川観音が完成し、除幕式を行う。	
	23日	市立博物館が八幡原史跡公園に開館する。市立理科教育センターも隣接して開館する。	
	10月1日	2代目の噴水が城山公園に完成する。 太陽熱利用による東長野老人憩の家を吉田五丁目に開設する。	
	4日	（～5日）第24回全日本花いっぱい大会が市民会館を主会場に開く。	
	この年……	芹田体育館が南部小学校北側に建設され利用が始まる。	
	1982	57年1月12日	新清掃工場が松岡清掃工場の西側に完成し市に引き渡される。
		1月……	15階からの人命救助に対応できる46mのはしご付消防自動車を中央消防署に配備する。
		3月29日	資源回収工場が松岡に完成し、6月からは家庭ごみの三分別回収を始める。
3月……		長野高校野球部が選抜高校野球大会（甲子園）に初出場する。 子供の園保育園（篠ノ井布施高田）と城東保育園（三輪八丁目）の改築工事が完成し保育を始める。	
4月1日		教育センター・視聴覚教育センターが鶴賀に開館する。教育相談室・少年補導センターを併設する。	
2日		篠ノ井バイパス（川合新田～小島田～篠ノ井橋）が全面開通する。	
5日		さわやか日替わり通勤の市民運動が交通量の抑制を目ざして始まる。	
26日		青少年錬成センターが小田切山田中に開所する。	
5月1日		障害者福祉センターが七瀬中町に建設され開所する。	
6月……		松くい虫や稲ミズ象虫が市内に侵入し、対策が始まる。 松代体育館が松代高校西側に完成し利用が始まる。 行政制度改善委員会が、支所・連絡所、公民館、本庁の部課の整理統合などについて市長に答申する。	
7月5日		松代町城東の建て売り住宅分譲の受付が始まる。	
8月2日		台風10号による大雨で篠ノ井松代若穂等の千曲川沿いに被害が出る。	
9月12日		（～13日）台風18号による豪雨で千曲川が増水し、水門閉鎖をして逆流防止をした地区では、中小河川が氾濫し浸水被害が出る。	
9月……		第1回ふれあい祭を長野運動公園で開催する。 在宅寝たきり老人の家庭介護に対する慰労金支給制度が始まる。	
10月25日		浅川学舎台の建て売り2戸建住宅分譲の受付が始まる。	
1983	58年11月30日	水道局移動相談所を開設し、上下水道の正しい知識と理解を深める。	
	この年1月……	若穂体育館が支所南側に完成し利用を始める。	
	2月1日	デイサービスセンターが松代町東条の尚和寮東側に完成し、入浴・食事などのサービスを始める。	
	3月24日	中央道長野線の麻績～須坂間のルートが発表され、全線のルートが決まる。	

西暦	年 月 日	おもなできごと	
1983	4月 1日	県民文化会館が若里公園内に開館する。 長野南高校が稲里町に新設・開校する。 浅川児童センターが新設され、児童の利用が始まる。 往生地公園が市民憩いの場として完成し利用が始まる。	
	5月 5日	第1回恐竜祭りが茶臼山恐竜公園で開かれる。	
	8月 8日	茶臼山動物園が市制80周年記念事業で設置され開園する。	
	8月……	長野商業高校野球部が44年ぶりに全国高校野球選手権大会に出場する。	
	9月 5日	古里地区富竹地籍の建て売り住宅分譲の受付が始まる。	
	22日	長野赤十字病院が若里地籍に新築移転する(10月1日開院)。	
	23日	長野市霊園の自由墓地分譲の受付が始まる。 長野駅前広場の修景施設のひとつとして、自然石と水と樹木を組み合わせた滝が完成する。 国鉄篠ノ井駅構内にこ線人道橋が完成し駅の東西をつなぐ道として利用される。	
	28日	台風10号による豪雨で松代町の河川が氾濫し、浸水被害が三年連続となる。	
	11月12日	(～13日)県下縦断駅伝で、長野市駅伝チームが初優勝する(以後、61年まで4連勝)。	
	20日	長野大通りが全面開通する。長野駅前広場・東西連絡地下道完成し、併せて祝賀行事を行う。	
	この年……	しののい公園が御幣川の旧繭検定所跡に市民参加により完成し公開される。	
	1984	59年4月 1日	自転車条例の施行に伴い、2階建の自転車駐輪場ができる。 夜間保育専門の若葉保育園が、緑町の秋葉保育園の南側に開設される。
		2日	特別養護老人ホーム七二会荘が完成し開所する。
		10日	心臓病検診に心電図が導入され、小学4年生を対象に巡回検診が始まる。
4月……		南部児童センター(鶴賀)と塩崎児童館(篠ノ井塩崎)が開館する。	
5月13日		中部勤労青少年ホームが裾花川沿いに新築され、働く若人の余暇活動の場として利用が始まる。	
6月 6日		夜間急病センターが長野市医師会の協力を得て長野赤十字病院内に開設される。	
8月 1日		生活雑排水処理場が大豆島地籍に完成し、運転を開始する。	
11日		篠ノ井高校野球部が全国高校野球選手権大会に初出場する。	
27日		中高年齢労働者福祉センターが川合新田にサンライフ長野として開館する。	
9月 4日		育児電話相談室が夜間保育所の若松保育園に開設される。	
10月20日		市民ギャラリーが長野大通り田町交差点地下道に開設される(のち長野駅東西連絡地下道にも開設)。	
10月……		市内の国道18号線で中央変移方式を始める。	
1985		60年1月28日	国道19号線大安寺橋でスキーバスが転落し、25人が死亡する(9月20日大安寺新橋工事を早めて完成し渡り初め)。
	2月……	東部浄化センターがホタル実験水路を作り研究を進める(のち、いきいき下水道賞などを受賞)。	
	3月14日	国鉄安茂里駅と長野電鉄附属中学前駅が開業する。	
	26日	長野高校野球部が選抜高校野球大会に出場する。	
	28日	レッサーパンダーつがいが石家市から贈られ、茶臼山動物園で公開する。	
	4月 1日	長野市公文書公開制度が発足する。 北郷体育館と川合新田体育館が完成し利用が始まる。	
	6日	松代東条児童センターと川中島児童センターが完成し利用が始まる。 第三セクター方式による長野ステーションビルMIDORIが完成し開業する。	
	28日	長野厚生年金会館が七瀬中町に開館する。	
	4月……	長野西高校の全日制課程が男女共学となる。	

西暦	年 月 日	おもなできごと	
1985	5月10日	精神薄弱者授産施設の小田切園が小田切塩生に完成し、竣工式を行う。	
	24日	暴力団の発砲事件が三輪でおこり、市民3人が負傷する(のち、暴力団追放住民大会開催)。	
	7月1日	市立長野図書館が長門町に開館する。	
	22日	住民記録がオンライン化される。	
	26日	地附山で地すべり災害が発生し、湯谷団地の一部と老人ホーム松寿荘がのみこまれ、松寿荘のお年寄りが26人死亡する(災害救助法が適用)。	
	28日	少年科学センターが城山に開館する。	
	9月8日	国際陸上競技長野市大会が市営陸上競技場で開催される。	
	23日	市立博物館茶臼山自然史館が茶臼山公園に開館する。 清掃工場の余熱を利用した総合レクリエーションセンターサンマリンながのが松岡の清掃工場西に完成し利用が始まる。	
	27日	「平和都市」の宣言をする。	
	10月1日	富竹団地の建て売り住宅分譲の受付が始まる(同62年6月には宅地分譲を実施)。	
	11月25日	中央消防署北部分署を若槻東条に開設する。	
	12月5日	芹田公民館が竣工する。	
	20日	市道一の鳥居線(通称七曲がり)にスノーシェッドが設置される。	
	この年……	浅川・長沼両排水機場は、宅地化の進行により増築と排水路改修を行う。	
	1986	61年1月……	特別消防救助隊に大型救助工作車を導入する。
		3月16日	北陸新幹線長野駅周辺整備事業が起工式を迎え、駅舎の改良も進む。
		31日	衛生工場が川合新田に完成する(工事費19億2千万円)。
4月7日		裾花川左岸堤防道路(長安橋上流から北への一方通行)が開通する。	
20日		古里公園の整備が完了し開園する。	
4月……		湯谷児童センターと徳間児童センターが完成し利用が始まる。	
5月11日		市域の降雨からチェルノブイリ原発事故の放射能を検出する。	
7月1日		芹田市民プールが川合新田に完成し開場する。	
8月……		若槻大通りが開通する。	
10月28日		長野広域連合が老人ホーム松寿荘を若槻上野に再建する。	
10月……		バス専用レーンが中氷鉋～青木島間に設置される。	
11月21日		中央道長野線「北信黎明の杭」打設式が篠ノ井塩崎で行われる。	
28日		1998年冬季オリンピック開催都市として立候補する。スローガンは「手をつなぎ長野に呼ぼう冬季五輪」。	
12月20日	新丹波島橋が完成し開通式を行う。		
この年……	市民健康診査で40才代の心電図検査を無料化する。 小中学校に人工呼吸器を配備し、突然死対策をとる。 中学校へ教育機器パソコンを導入する。 信州ふるさと自慢大集合が城山公園で行われる。		
1987	62年1月8日	長野市のキャッチフレーズが「ふれ愛・ながの21」に決まる。	
	3月27日	芋井体育館の竣工式を行う。	
	4月1日	市制90周年を迎える。市の木に「シナノキ」、市の花に「リンゴの花」が制定される。 埋蔵文化財センターが市立博物館内に設置される。	
	24日	第一学校給食センターを高田から青木島町綱島に移転して開設する。 上信越自動車道の松代地区で設計協議がまとまり、覚書に調印する(8月10日若穂地区調印)。	
	6月20日	犀川左岸堤防道路(市道米村小市線)が開通する。 「長野冬季オリンピック招致推進県民の集い」が県民文化会館で開かれるなど、招致運動が高まる。	
	24日	東長野デイサービスセンターが吉田に開所する。	
	8月22日	市役所第二庁舎と玄関棟の竣工式を行い一般開放する(9月1日業務開始)。	
	9月1日	同報無線を開局し、地域の実情にあわせた災害情報を流す。	
	13日	第1回飯綱高原健康マラソン全国大会が開催される。	
	23日	長野市霊園第2次造成分の分譲を開始する。	

西暦	年 月 日	おもなできごと	
1987	10月29日	(～31日)日本文化デザイン会議‘87長野が“自由でスタイル”をメインテーマに開催される。	
	11月1日	稲田(一丁目分)・徳間の両地区で住居表示を実施する。	
	11月……	路上パーキング制が中央通りで始まる。	
	12月21日	善光寺山門東公衆便所御安心処と、長野駅東西連絡地下道公衆便所が開設される。	
	この年……	長野市民憲章を制定する。	
	1988	63年2月1日	電線地中化事業が国道19号の中御所から緑町交差点まで完成する。
		23日	行政資料コーナーを本庁舎1階に開設する。
		2月……	長野自動車道「北信躍動の杭」打設式が若穂町川田で行われる。
		3月25日	都市景観形成基本計画を策定し、都市景観賞を創設する(権堂広場など5点が受賞)。
		29日	西寺尾運動場が竣工する。
29日		古里体育館が竣工する。	
4月10日		犀南保健センターが開所する。	
11日		80万人の台所を賄う長野地方卸売市場が真島に完成し業務を開始する。	
13日		国際コンベンション・シティ(国際会議都市)の指定を受ける。	
5月……		水道資料館が犀川浄水場に開館する。	
6月1日	1998年冬季オリンピックの国内候補都市が長野市に決定する。		
7月……	訪問看護指導制度が始まり、保健婦と在宅看護婦が寝たきりのお年寄りを訪問、看護指導をする。		
8月27日	(～28日)アスペン・ミュージック・フェスティバル長野(ジャパン)‘88・プレリウドが飯綱で開催される。		
31日	北陸新幹線の高崎～長野間が着工順位1位に決まる。		
9月11日	地価高騰抑制のため市の6割の地域が国土利用計画法による地価監視区域となる。		
10月1日	フィットネスセンターが昭和の森公園に開所する。		
3日	松代支所が改築され、新庁舎で業務を始める。		
14日	通明小学校がよい歯の学校表彰で日本一になり、文部大臣賞を受賞する。		
12月5日	中御所地区で住居表示を実施する。		
14日	塩崎運動場が竣工する。		
64年1月6日	冬季五輪候補都市を競いあった4市の子どもたちが錬成センターで一同に会しオリンピック少年少女友の会を設立する。		
1989	平成元年1月21日	長野市南部働く婦人の家を篠ノ井小森の南部福祉総合センターに開館する。	
	2月19日	朝陽小学校合唱部が子ども音楽コンクール全国大会で第1位となり、文部大臣賞を受賞する。	
	3月8日	F I Sワールドカップ志賀大会が行われ、17か国330人の役員・選手団が長野に来る。	
	5月2日	長野市防災市民センターを消防局南側(居町)に開所する。	
	5月12日	オリンピックセンターが長野バスターミナル会館内に開設される。	
	22日	「長野市の門」(野外彫刻)、ふるさと創生1億円事業として3か所(篠ノ井横田・信更町安庭・長沼地区赤沼)に設置が決まる(同2年6月完成)。	
	10月12日	オリンピック招致にあたり、全国規模の招致委員会が設立され、I O C委員や関係者が長野市を訪れ招致運動が高まる。	
	11月2日	善光寺本堂の昭和の大修理が完成し、落慶法要を行う。	
	1990	2年2月16日	(～18日)フリースタイルスキー’90F I Sワールドカップ・ナガノ・ジャパンが飯綱高原スキー場で開催され、世界16か国のトップスキーヤーが参加する。
		4月26日	東山魁夷館を城山公園に開館する(寄贈作品540点余)。
4月……		長野市誌刊行事業が市制施行100周年記念事業の1つとして、長野市誌編さんのための事務局を企画調整部企画課内に開設する。	
6月25日		長野自動車道の稲荷山トンネルが貫通し、市内ルートの全線着工により、同5年3月の開通に向け工事を急ピッチで進める。	
8月25日		松代象山地地下壕500mを全面公開する(10月1日から平日も一般公開)。	

西暦	年 月 日	おもなできごと	
1991	3年3月25日	千曲川流域下水道終末処理場「クリーンピア千曲」が赤沼に完成し、供用を開始する。	
	4月1日	スパイクタイヤが市内全域で使用禁止になる（スパイクタイヤ粉じん発生の防止に関する法律）。	
	7日	三陽・櫻ヶ岡・裾花の3中学校の過大規模校解消のため、犀陵中学校が市内19番目の中学校として川合新田に開校する。 （～5月26日）善光寺御開帳が行われ、期間中388万人の人出でにぎわう。	
	6月15日	1998年第18回オリンピック冬季競技大会の開催都市長野市に決定する。	
	8月20日	長野市の人口が住民基本台帳上、35万人を突破する。	
	9月17日	北陸新幹線軽井沢～長野間のフル規格での建設が認可され、長野駅東口で起工式が行われる。	
	27日	（～28日）台風19号の強風により、果樹・園芸施設等に大被害となり、若穂では最大瞬間風速41.4mを記録する。	
	11月27日	長野オリンピック冬季競技大会組織委員会（NAOC）が発足する。	
	1992	4年4月1日	県内初の女性消防士2人が長野市消防局に誕生する。 緑ヶ丘小学校が芹田・南部・古牧の3小学校の一部児童を受け入れて、市内40番目の小学校として南高田に開校する。
		7月1日	長野市個人情報保護条例を施行する。
		3日	長野市が景観を守り育てる条例（景観条例）を施行する。 ゴミ減量と資源の有効利用推進へ向けゴミ減量・再資源化推進市民会議が設立される。 （11月1日古牧・若槻地区で新しいゴミ分別体系によるモデル地区事業が実施される。）
8月6日		長野インターのアクセス道路と松代大橋2車線が開通する（同6年松代大橋4車線化）。	
1993	5年1月26日	長野オリンピックの大会シンボルマーク（エンブレム）が決定する。	
	3月22日	丹波島橋が交通渋滞解消のため4車線化され開通する。	
	25日	長野自動車道の「豊科IC～更埴JC」、上信越自動車道の「更埴JC～須坂長野東IC」の供用を開始する。	
	4月……	三本柳小学校が青木島・下氷鉦・川中島の3小学校の一部児童を受け入れて、市内50番目の小学校として丹波島に開校する。	
	9月9日	県内でも珍しい斜張橋、裾花あやとり橋が開通する。	
	10日	1998年第7回パラリンピック冬季競技大会の開催都市が長野市に決定する。	
1994	17日	長野オリンピックの大会マスコット「スノーレッツ」が決定する。	
	6年1月21日	長野オリンピックのマスコット、スノーレッツ4羽の愛称が決定する。	
	3月2日	オリンピック旗がリレハンメル（ノルウェー）から長野市に到着する。	
	22日	パラリンピック旗がリレハンメルから長野市に到着する。	
	7月1日	ふれあい福祉センターが市民の福祉とボランティアの拠点として、緑町に開館する。	
	8月1日	ゴミ減量と再資源化に向けて、ゴミの5分別収集が全市で始まる。 交通渋滞解消のため、国道19号線の両郡橋と明治橋が架け替えられ開通する。	
3日	長野地方気象台で観測史上最高の記録的な猛暑と小雨のため、全市に節水を呼び掛け、農作物等干ばつ対策本部を設置する。		
この年……	長野オリンピックボランティアに約3万2千人、長野パラリンピックボランティアに約2千600人が応募する。		
1995	7年1月17日	阪神地方を中心に大地震（M7.2）が発生し、救援に市内から多くのボランティアが参加する（阪神・淡路大震災）。 県外3市（町田9月・上越10月・富山12月1日）と災害時の相互応援協定を締結する。	
	3月……	国道19号線に双子トンネルに代えて、犬戻トンネルが開通する。	
	4月1日	更級郡・上水内郡10か町村の消防・救急業務の委託を受けて、長野広域消防が発足し、鳥居川消防署と新町消防署が開設する。	
	6日	広徳中学校が更北・川中島・篠ノ井東の3中学校の過大規模改善のため、市内11番目の中学校として、稲里町田牧に開校する。	

西暦	年 月 日	おもなできごと
1995	10 日	勤労者女性会館しなのきが女性団体や勤労者団体の拠点として、西鶴賀町に開館する。
	12 日	権堂商店街アーケードが全面改装され完成し、記念セレモニーが行われる。
	5 月 14 日	長野オリンピック千日前イベントが、若里に完成したアイスホッケーA会場（ビッグハット・3月31日竣工）で開かれる。
	6 月 1 日	長野市民病院が6診療科・150床で古里地区富竹に開院する。
	7 月 1 日	ながのコミュニティ放送（愛称FMぜんこうじ）が開局する。
	8 月 6 日	利便性向上と瓶・缶のリサイクル推進のため、サンデーリサイクルが始まる。
	9 月 14 日	篠ノ井駅舎が改築され、橋上駅となって開業する（9月22日北長野駅舎、12月6日川中島駅舎が新装開業）。
	10 月 6 日	北陸新幹線「長野～軽井沢間」のレール発進式が行われる。
	11 月 6 日	箱清水地区で新しい住居表示を実施する。
	30 日	上越自動車道の長野IC～須坂長野東IC間が4車線化され、同時に信州中野ICまで開通する。
1996	8年1月……	長野市民病院に理学診療科（1月）、脳神経外科（4月）、眼科・泌尿器科（6月）が増設される。
	3月……	'96 ジャパン・パラリンピック氷上競技大会が開催される。
	4 月 1 日	都市計画新用途地域を施行する。
		資源化施設のリサイクルプラザが新清掃工場東側に開所する。
	6 月 22 日	橋上化した長野駅が開業し、東西自由通路の一部の供用を開始する。
	6 月……	観光情報センターをJR長野駅構内に開所する。
	7 月 1 日	人権を尊び差別のない明るい長野市を築く条例を施行する。
	22 日	安茂里伊勢宮地区で新しい住居表示を実施する。
	8 月 2 日	中央通り改築事業が、電線地中化・アーケード撤去・歩道改良など完了して完成する。
	9 月 7 日	フィギアスケートとショートトラックスピードスケート会場のホワイトトリング（真島総合スポーツアリーナ）の竣工式を行う。
	11 日	長野市の人口が住民基本台帳上、36万人を突破する。
	24 日	新屋島橋が開通する。
	28 日	安茂里小市地区で新しい住居表示を実施する。
	11 月 1 日	長野市民病院訪問看護ステーションを市民病院内に開所する。
	9 日	ボブスレー・リュージュ会場のスパイラル（中曽根）の竣工式を行う。
	12 月 2 日	浅川ループラインが開通する。
	14 日	スピードスケート会場のエムウェーブ（北長池）の竣工式を行う。
	18 日	（～22日）アイスホッケー長野カップ '96 がビッグハットで開催される。
26 日	五輪大橋が開通する。	
1997	9年2月 4 日	（～9日）フリースタイルスキー世界選手権大会が飯綱高原スキー場で開催される。
	7 日	長野オリンピック文化・芸術祭が始まる。
	14 日	（～16日）世界スピードスケート選手権大会など、長野オリンピック大会前の国際競技大会が開催される。
	3 月 20 日	（～23日）長野パラリンピック前大会（アイススレッジ競技）が開催される。
	4 月 6 日	（～5月31日）善光寺御開帳に、56日間で全国から515万5千人が参拝する。
	7 月 11 日	五明西寺尾線・東福寺稲里線・今井田牧線が開通する。
	9 月 30 日	長野運動公園総合運動場アイスアリーナ「アクアウィング」が竣工し、オリンピック競技施設がすべて整う。
	10 月 1 日	「長野～東京間」を最短1時間19分で結ぶ北陸新幹線が開業する。 「篠ノ井～軽井沢間」にしなの鉄道が開業し、新しくJR今井駅ができる。
		JR長野駅東口広場・地下駐車場・東西自由通路の供用が開始される。
	16 日	長野市制施行100周年記念式典を挙げる。

西暦	年 月 日	おもなできごと
1997	11月4日	安茂里差出南地区で新しい住居表示を実施する。
	22日	東外環状線（県道三才大豆島中御所線）が開通し、県庁大門町線の開通でセル環状線整備が完成する。 駐車場案内システムが本格的に稼動する。
1998	12月2日	国道18号線の母袋高架橋（立体交差）が完成する。
	24日	国道19号線の長野南バイパスが開通する。
	10年2月7日	（～22日）長野オリンピック冬季競技大会が開催される。
	3月5日	（～14日）長野パラリンピック冬季競技大会が開催される。
	4月3日	南長野運動公園内に聖火台を移設する。
	15日	若里市民文化ホールがビッグハット北側に完成する。
	23日	長野市フルネットセンターが地域の情報通信網の拠点として、鐘紡跡地に発足する。
	7月1日	安茂里老人福祉センターなど3か所を拠点として、24時間対応の巡回型ホームヘルプサービスを実施する。 育児の拠点として、子育て支援センターを山王保育園に開設する。
	29日	（～8月3日）小中学生代表16人がI O C本部に招待される。
	9月16日	（～22日）台風5、7号により総額約16億2千800万円の被害が発生する。
1999	23日	エムウェーブで世界初の氷笛によるスケートリンク整備を実施する。
	10月17日	今井ニュータウンが竣工する。
	23日	長野オリンピック・ハーモニーで支援対象国15か国への支援金贈呈を開始する。 平成11年度から長野市など全国4市を中核市とする政令が公布される。
	11月24日	桐原・中越の両地区で新しい住居表示を実施する。
	11年1月12日	長野オリンピックでの一校一国運動などが評価され、世界に開かれたまち部門で長野市が自治大臣表彰を受ける。
	20日	（～31日）高校総体、ながの国体スケート競技会・アイスホッケー競技会が開催される。
	2月6日	（～7日）長野オリンピック1周年記念イベントを開催する（前年1月28日、市議会が2月7日を「長野オリンピック記念平和とスポーツの日」とすることを決議）。
	3月6日	（～3月7日）長野パラリンピック1周年記念イベントを開催する。
	4月1日	長野市が中核市に移行する。 長野市保健所を若里に開所する。
	18日	第1回の長野オリンピック記念長野マラソンが信毎マラソンを引き継いで始まる。
2000	5月16日	アクアウィングが総合市民プールとして長野運動公園北側に開館する。
	9月16日	清掃センターがダイオキシン類削減のため、3年計画で焼却施設の改修工事を開始する。
	10月1日	介護保険の要介護・要支援認定を開始する。
	12日	若里地区で新しい住居表示を実施する。
	30日	上信越自動車道が全線開通する。
	12年3月3日	（～5日）2000世界スピードスケート距離別選手権大会がエムウェーブで開催される。
	25日	長野商業高校が第72回選抜高校野球大会（春の甲子園）に出場する。
	4月1日	中心市街地を回る循環バス「ぐるりん号」の運行を開始する。 介護保険制度が始まる。 長野広域行政組合が解散し、長野地域18市町村で組織する長野広域連合が発足する。
	16日	オリンピック開閉会式会場を野球場に整備した、長野オリンピックスタジアムが開場する。
	6月29日	放射性物質モナザイトが市内でも発見される。
7月13日	長野そごうが自己破産を申請し、即日店舗を閉鎖する。	
21日	大手スーパーのダイエーが、ダイエー長野店の営業を年末で打ち切ることを発表する。	
8月22日	辰巳隧道（市道吉田朝陽線）が完成する。	

西暦	年 月 日	おもなできごと
2000	10月26日	(～27日) 全国市長会・長野市など主催の第62回全国都市問題会議がビッグハットで開催される。
	11月20日	稲里町中央地区で新しい住居表示を実施する。
2001	13年2月3日	ワールドカップ大会(3日～4日リュージュ・スケルトン、10日～11日モーグル)が開催される。
	4月1日	おでかけパスポート事業が、70歳以上の市民の市内路線バス利用を対象にして始まる。 育児の相互援助活動を行う長野市ファミリー・サポート・センターを設立し、勤労者女性会館しなのきに事務局を置く。
	22日	(～24日) 安茂里小市地籍で林野火災が発生し、約28haが焼失する。
	4月……	豊かな自然や希少動植物を守るため、市民の協力を得て長野市版レッドデータブックの作成を始める。
	5月8日	(～14日) 長野市・石家市友好都市締結20周年記念の友好代表団が訪中する(10月3日～5日石家市代表団が長野市を訪問)。
	6月15日	2005年第8回スペシャルオリンピックス冬季世界大会が、長野市を主会場として開催されることが決定する。
	9月27日	浅川端遺跡より馬形帯鉤(ベルトのバックル)が出土する。
	10月16日	(～17日) 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が10都県合同で長野市を会場に開催される。
	10月……	環境ISO14001取得に向けて、市庁舎などで取り組みを開始する。
	11月5日	松岡地区で新しい住居表示を実施する。
2002	14年1月25日	市庁舎・清掃センターをはじめ、52施設で環境ISO14001認証を取得する。
	3月18日	(～24日) 2002世界フィギュアスケート選手権大会が長野オリンピック記念アリーナ(エムウェーブ)で開催される。
	4月1日	同12年4月策定の「あんしんいきいきプラン21(老人保健福祉・介護保険事業計画)」を見直し、15年度～19年度の計画策定を始める。
	11日	長野市メールマガジン「ふれ愛ながの」を創刊する。
	20日	(～5月6日) ながの花フェスタ2002が開催され、善光寺花回廊で中央通りに花びらが敷きつめられる(20日・21日は花のじゅうたん絵「インフィオラータ」でにぎわう)。
	5月……	長野市健康づくりプラン「健康ながの21」を、生涯を通じた市民の健康づくりのため策定する。
	7月11日	プロ野球フレッシュオールスターゲーム2002がオリンピックスタジアムで開催される。
	10月8日	豊野町から長野市へ任意合併協議会設置の申し入れがある。
	11月10日	真田サミット2002inながのを松代町で開催する。
	12月25日	長野市・豊野町が任意合併協議会を設置する。
2003	15年2月8日	(～15日) 善光寺を五色の光でライトアップする善光寺ゆめ常夜灯が開催される。
	15日	(～16日) スパイラルでスケルトン世界選手権長野大会が開催される。
	3月5日	大岡村・戸隠村から長野市へ任意合併協議会設置の申し入れがある。
	13日	鬼無里村から長野市へ任意合併協議会設置の申し入れがある。
	4月1日	第三次長野市総合計画後期基本計画を施行する。
	6日	(～5月31日) 善光寺御開帳が行われ628万人が参拝に訪れる。
	17日	長野市・大岡村・戸隠村・鬼無里村が任意合併協議会を設置する。
	4月……	長野市男女共同参画推進条例を制定する。
	6月1日	もんぜんぷら座が市民公益活動センターやこども広場「じゃん・けん・ぼん」などを備えて新田町(旧ダイエー跡地)に開設する。
	7月……	長野市自然環境保全条例を制定し、飯綱高原を自然環境保全地域として指定する。(9月1日施行)
	8月12日	長野工業高校が第85回全国高校野球選手権大会(夏の甲子園)に初出場する。
	8月28日	日本オリンピック委員会(JOC)との間でパートナー都市協定(オリンピック施設を練習場として提供・協力)を締結する。
	11月16日	(～18日) 2003ワールドカップ・バレーボール男子長野大会がホワイトリングで開催される。
	12月22日	長野地域合併協議会を設置する。

西暦	年 月 日	おもなできごと
2004	16年3月25日	県内初の公募公債であるながの市民債を発行する。
	4月17日	生涯学習をテーマに1年間にわたり誘客をはかる「エコール・ド・まつしろ」が松代城復元春まつり（～18日）を皮切りに始まる。
	5月17日	長野市・豊野町・戸隠村・鬼無里村・大岡村合併協定調印式を行う。
	28日	（～6月5日）姉妹都市提携45周年記念事業でクリアウォーター市親善訪問団が来訪する。
	8月30日	稲田地区（二～四丁目分）で新しい住居表示を実施する。
	9月1日	地域循環コミュニティバス「若里・更北ぐるりん号」、「東北ぐるりん号」の運行を開始する。
	10月8日	（～20日）台風22、23号が猛威を振るい市内でも大きな被害が出る。
	17日	毎月第3日曜日に市役所の一部窓口の日曜開庁を開始する。
	11月18日	長野市・豊野町・戸隠村・鬼無里村・大岡村が、平成17年1月1日に合併することが正式に決定する。
	12月7日	市役所内のプロジェクトチームがまとめた都市内分権構想の最終報告を発表する。
2005	17年1月1日	豊野町・戸隠村・鬼無里村・大岡村が編入合併し、新長野市が誕生する。
	2月26日	（～3月5日）2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会が長野市を中心に開催される。
	28日	檀田地区で新しい住居表示を実施する。
	4月1日	産学行（官）連携の拠点施設長野市ものづくり支援センター（通称UFONagano）が信州大学工学部内に完成する。
	17日	第1回長野パラリンピック記念長野車いすマラソンが開催される。
	7月17日	市役所の一部窓口の日曜開庁を毎月第3日曜日に本格的に実施する。
	8月5日	長野市百川臨海学校（新潟県糸魚川市）が閉校する。
2006	11月7日	西和田地区で新しい住居表示を実施する。
	12日	使われていない商家や蔵を活用したテナントミックスによる新しい商業施設「ぱていお大門・蔵楽庭」を大門町に開設する。
	18年2月10日	（～12日）長野オリンピック記念国際アイスホッケー大会長野カップ2006が開催され、日本が優勝する。
	3月10日	（～19日）トリノパラリンピック（イタリア）に日本代表として長野市在住の2人が出場する。
	4月1日	県内初のPFI手法（民間の資金や運営ノウハウを活用）により事業化され、高齢者福祉施設を備えた複合型温泉利用施設「湯～ぱれあ」を若穂綿内に開設する。
	28日	若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」が市内初の地域自治組織として設立される（都市内分権元年として位置づける）。
	7月……	豪雨による災害で、市内各所に道路決壊、土砂崩落、農業被害などが発生する。
	8月8日	松代高校が第88回全国高校野球選手権大会（夏の甲子園）に初出場する。
	9月22日	長野銀座地区の再開発事業が完成し、TOiGOを問御所町に開設する（同年10月1日に生涯学習センターも開所）。
	10月1日	真島保健センターを真島に開所する。
30日	平林地区で新しい住民表示を実施する。	
この年……	記録的な大雪が続き、市民生活に大きな影響が出る。クマ・カモシカ・イノシシなどの出没が相次ぎ、農作物等に被害が出る。	
2007	19年3月30日	ケーズタウン若里が、若里3丁目（ダイエー跡地）に開設する。
	5月……	エムウェーブ、スパイラルがナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に指定される（平成22年6月に再指定される）。
	9月30日	長野新幹線「あさま」開業10周年記念式典が開催される。
	10月1日	（～12月31日）小判型共通商品券「ながの小判」が、中心市街地商業活性化のため販売される（利用期間は翌年1月31日まで）。
	27日	長野市制施行110周年記念式典を挙げる。
10月……	市政の応援を目的に、首都圏で活躍されている長野市に縁のある方々をメンバーとした「ふるさとNAGANO応援団」を設立する。	

西暦	年 月 日	おもなできごと
2007	11月20日 11月…… この年……	長野市公文書館が城山分室に開館する。 茶臼山自然史館、戸隠地質化石館が閉館する。 『大河ドラマ「風林火山」特別企画展体感！川中島の戦い2007』が開催される。 国宝善光寺本堂再建300年を迎える。 1200万人観光交流推進プラン「戸隠イヤー」を実施する。
2008	20年1月26日 2月2日 9日 2月20日 4月7日 23日 26日 7月26日 10月1日 2日 11月26日 この年……	(～30日)第63回国民体育大会冬季大会スケート競技会がエムウェーブとビッグハットで開催される。 (～5日)第28回全国中学校スケート大会がエムウェーブとビッグハットで開催される(10年連続開催の1年目)。 長野冬季オリンピック10周年記念式典がビッグハットで開催される。 信州新町・中条村から長野市へ合併に関する協議会の申し入れがある。 市立長野高等学校が、男女共学の単位制総合学科高校として、市立皐月高校に併設し開校する。 善光寺山門(三門)平成の大修理が完成し、山門登楼内部の一般公開が開始される。 北京2008オリンピック聖火リレーが開催される。 戸隠地質化石博物館が旧柵小学校校舎を再利用し開館する。 ながの子育て応援カード事業を実施する。 長野市・信州新町・中条村合併協議会を設立する。 国・県との国民保護共同実動訓練がビッグハットやJR長野駅などで実施される。 長野冬季オリンピック・パラリンピック開催から10周年を迎え、さまざまな記念事業が実施される。 1200万人観光交流推進プラン「善光寺イヤー」、「飯綱高原イヤー」を実施する。
2009	21年2月19日 3月22日 4月1日 5日 20日 26日 28日 5月31日 8月20日 10月1日 8日 11月7日 この年……	長野市・信州新町・中条村合併協定調印式を行う。 篠ノ井・松代両地区を結ぶ赤坂橋が開通する。 中山間地域活性化のために「地域活性化アドバイザー」を創設する。 インターネットテレビ局「愛テレビながの」が開局する。 (～5月31日)善光寺御開帳が行われ、673万人が参拝に訪れる。 住民自治協議会と基本協定を締結する。 (～5月20日)戸隠神社式年大祭が行われる。 新型インフルエンザ危機対策本部を設置する。 ながの「きらめき」商品券を発行する。 長野日大高校が第91回全国高校野球選手権大会(夏の甲子園)に初出場する。 家庭ごみ処理手数料有料化制度が始まる。 (～11日)クリアウォーター市姉妹都市提携50周年記念訪問団が来訪する。 (～8日)第一回信州戸隠トレイルランレース&アウトドアフェスタが開催される。 新型インフルエンザが流行し、保育園、小・中学校などで休園や学級閉鎖などが相次ぎ、県からインフルエンザ警報が発令される。 1200万人観光交流推進プラン「善光寺イヤー」、「鬼無里イヤー」を実施する。
2010	22年1月1日 2月…… 3月6日 …… 4月1日 20日 6月1日 11月23日 この年……	信州新町・中条村を編入合併する(人口389,337人、世帯数152,526)。 市役所第一庁舎・長野市民会館の基本構想を決定する。 市立皐月高校が閉校する。 柳原支所・柳原公民館・東部文化ホールが完成する。 住民自治協議会が本格的にスタートする。 (～28日)長野市・クリアウォーター市姉妹都市提携50周年を迎え、市民親善訪米団を派遣する。 エムウェーブ、スパイラルがナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に再指定される。 更北地区、主要地方道・長野真田線が開通する。 記録的な猛暑で、各地で観測史上最高の気温を記録する。 観光キャンペーン「2010松代イヤー」を開始する。

西暦	年 月 日	おもなできごと
2011	23年2月2日	長野電鉄活性化協議会が屋代線を廃止し、バスによる代替を決定する。
	3月31日	長野市民会館が閉館する。
	4月2日	とがくし保育園、信更保育園が開所する。
	30日	市道鬼無里戸隠東線が開通する。
	7月24日	アナログ放送が終了する。
	11月5日	篠ノ井消防署更北分署が開署する。
	26日	中国石家庄市友好都市締結30周年記念式典が開催される。
	この年……	東日本大震災・長野県栄村を中心とする地震が発生する。 観光キャンペーン「篠ノ井イヤー」「信州新町イヤー」を開始する。
2012	24年3月16日	芋井中学校が閉校する。
	31日	長野電鉄長野電鉄屋代線が3月31日の運行をもって廃線され、4月1日から代替バス「屋代須坂線」が運行を開始する。
	4月11日	表参道長野オリンピックメモリアルパークがオープンする。
	7月28日	戸隠キャンプ場がグランドオープンする。
	10月……	長野駅善光寺口駅前広場の整備工事が開始される。
	2日	富山市と集客プロモーションパートナー都市協定を締結する。
	20日	アビリンピック2012（第33回全国障害者技能競技大会）が開催される。
	27日	バス共通ICカード「KURURU（くるる）」「おでかけパスポート」の運用が開始される。
	11月1日	中央消防署東部分署が開署する。
	この年……	観光キャンペーン「ながの『四季の彩り』キャンペーン」を開始する。
2013	25年2月15日	ながのシティプロモーション実行委員会を設立する。
	3月20日	後町小学校が閉校する。
	4月1日	大豆島総合市民センターがオープンする。
	11日	「長野市歴史的風致維持向上計画」が、文部科学大臣・農林水産大臣・国土交通大臣から認定を受ける。
	4月27日	茶臼山動物園のモノレールが開通する。
	8月6日	新第一庁舎および（仮称）長野市民文化芸術会館の建設工事が始まる。
	9日	福井市と集客プロモーションパートナー都市協定を締結する。
	10月1日	（仮称）長野市民文化芸術会館を管理・運営する「一般財団法人長野市文化芸術振興財団」が発足し、芸術監督に久石譲さんが就任する。
11月10日	AC長野パルセイロがJFL（日本フットボールリーグ）で初優勝する。	
2014	26年1月……	戸隠スキー場が開場50周年を迎える。
	3月15日	北陸新幹線（長野経由）長野・金沢間の開業に先立ち、同新幹線用の新型車両E7系「あさま」が運行を開始する。
	29日	JR長野駅東口にユメリアバスパークがオープンする。
	31日	昭和60年10月に開館したサンマリーンながのが閉館する。
	4月1日	地域おこし協力隊員を配置する。
	26日	北部スポーツ・レクリエーションパークがオープンする。
	7月……	マイマイガが大量発生する。
	10月1日	中心市街地循環バス「ぐるりん号」に電動バスを本格導入する。
11月22日	長野県北部を震源とする神城断層地震が発生し、市内でも震度6弱を観測する。	
2015	27年2月27日	南長野運動公園総合球技場が完成する。
	3月14日	北陸新幹線（長野経由）長野・金沢間が開業する。 しなの鉄道北しなの線が開業する。
		長野駅善光寺口駅前広場整備事業が完成する。
	27日	妙高戸隠連山国立公園が32番目の国立公園として誕生する。
	29日	中央通り歩行者優先道路化事業、権堂イーストプラザの完成式典が行われる。
	4月1日	水道事業が給水開始から100周年を迎える。
	5日	（～5月31日）善光寺御開帳が行われ、707万8千人が参拝に訪れる。
	7月18日	ながのプレミアム商品券の一般販売が開始される。
	10月8日	（～9日）第77回全国都市問題会議を開催する。
	25日	AC長野パルセイロ・レディースがなでしこリーグ2部で初優勝する。

西暦	年 月 日	おもなできごと
2016	28年1月4日	市役所の新第一庁舎が開庁する。
	1月17日	(～12月12日)大河ドラマ「真田丸」の放映にあわせ、「信州松代真田大博覧会2016」が真田宝物館で始まる。
	3月29日	長野地域連携中枢都市圏連携協約合同締結式が開催される。
	31日	信田小学校、更府小学校が閉校する。
	4月1日	信更小学校が開校する。
	5月3日	市役所第一庁舎・長野市芸術館竣工記念式典を行う。
	22日	(～26日)友好都市締結35周年を記念して石家庄市友好代表団が来訪する。(10月16日～21日長野市友好代表団を石家庄市へ派遣する。)
	6月5日	第67回全国植樹祭がエムウェーブを主会場として開催される。
	9月22日	大豆島体育館が開館する。
	10月11日	「住民票の写し」と「印鑑登録証明書」のコンビニ交付サービスを開始する。
2017	29年1月27日	(～31日)「ながの銀嶺国体」スケート競技大会が開催される。
	2月23日	戸隠地区(宝光社、中社)が、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定される。
	4月1日	市立長野中学校が開校する。
	27日	長野市制120周年記念式典を行う。
	5月1日	中央消防署新庁舎で業務を開始する。
	4日	ながの獅子舞フェスティバルを初開催する。
	8日	更北支所の新庁舎が完成し、業務を開始する。
2018	7月1日	「八幡原史跡公園」の名称を「川中島古戦場史跡公園」に変更する。
	30年1月13日	第1回NAGANOパラ・スポーツデーを開催する。
	2月4日	長野オリンピック・パラリンピック20周年記念式典&アニバーサリーコンサートを行う。
	3月1日	サンマリンながの・リサイクルプラザがオープンする。
	4月1日	長野県立大学が開学する。
	7月10日	長野県立大学と包括連携協定の調印式が行われる。
	22日	茶臼山動物園の入園者が600万人を達成する。
2019	9月21日	長野市と松本市で「人生100年時代を見据えた新しい高齢者の定義についての共同提言」を行う。
	31年3月……	信州ブレイブウォリアーズのホームアリーナ、ホームタウンの受け入れを決定。
	10日	3月から本稼働した、長野広域連合の「ながの環境エネルギーセンター」竣工式を行う。
	28日	中条の「ジビエ加工センター」竣工式 4月から6月の試験稼働を経て、7月から本格稼働。
	令和元年7月9日	2019デンマーク親善フェア開催宣言 12月にかけてデンマーク競泳チームとの交流や紹介イベントなどを行う。
	10月12日～	令和元年第19号台風により、穂保地区などで千曲川堤防が決壊し、越水により多くの住宅が水につかったため、市内各所で甚大な被害を受ける。
		豊野西小、東小、長野運動公園などに避難所を設置。
		災害復旧のためにボランティアや物資支援など、多くの支援を受ける。
		下水道処理施設の被害により、排水削減の協力を呼び掛けた。
		観光や、スポーツなどのイベントが相次いで中止・延期する。
2020	21日	中核市災害応援協定に基づき、避難所の運営スタッフとして、28市から99人の職員の派遣を受け、受け入れ式を行う。
	26日	(～27日)被災家屋からの大量の災害ごみを、日中はボランティアが集積場へ、夜間は自衛隊による郊外への搬出を行う「One NAGANO」(ワン ナガノ)の取り組みを行う。
	2年2月16日	今シーズンで閉鎖する飯綱高原スキー場が、雪不足のため予定を約1カ月前倒しして営業を終了、55年の歴史に幕。
	26日	長野市災害対策本部会議「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う市主催イベント・行事の開催について」を発表(他人数が集まるイベントなどの延期や中止を検討するなど)以降、多くのイベントや修学旅行などが延期、中止となる。高齢者施設などでは面会、出入りの制限なども。

西暦	年 月 日	おもなできごと	
2020	～3月 1日	復興への意志を全国に発信するため、台風災害により中止となった昨年末の善光寺の装飾を実施、表参道イルミネーションも3月1日まで延長。	
	4月 27日	信州ブレイブウォリアーズがB1リーグ昇格、お祝いの横断幕掲出。	
	4月……	長野マラソンが新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	
	6月 1日	都市計画道路 県庁緑町線が開通。	
	8月……	新型コロナウイルス感染症の影響で売上げが減少した市内の飲食店などを応援するため、「押し店プラチナチケット」を販売。	
	9月 12日	(～13日) セントラルスクエアオープニングセレモニー、ながの市アウトドアフェスティバル～ヤマチフェス～などを開催。感染症対策の中でも街がにぎわう。	
	10月 1日	松代藩文武学校がリニューアルオープン、記念式典を実施。	
	2021	3年3月 27日	「国道18号東バイパス」暫定開通。
		4月 1日	東京2020オリンピック聖火リレー(善光寺～長野市役所間)到着後、長野市役所桜スクエアにおいてセレブレーション開催。
		4月 25日	(～5月25日) 戸隠神社式年大祭。
5月 29日		65歳以上の市民向け新型コロナウイルスワクチン集団接種開始、集団接種会場アークスホールへの市長視察。	
31日		「令和元年東日本台風 長野市災害記録誌」を刊行。	
7月 11日		(～20日) デンマーク水泳連盟 競泳ナショナルチーム東京2020オリンピック競技大会に向けた事前合宿をアクアウィングにて実施。	
17日		茶臼山動物園「オランウータンの森」オープニングセレモニー開催。	
18日		(～22日) 東京2020パラリンピック競技大会水泳競技日本代表選手が、長野運動公園総合運動場総合市民プール「アクアウィング」にて強化合宿。	
8月 12日		(～13日) 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル 採火式と聖火ビジットを実施。	
11月 3日		長野市を含む長野県内20市町村が一斉に「新型コロナウイルス感染症終息と県内経済復興祈念花火」を打上げ。	
2022	4年3月 14日	若里マイナンバーカードセンターが開設する。	
	31日	長野市少年科学センターが閉館する。	
	4月 6日	長沼児童センター開所式が行われる。	
	22日	Nagano forest village「森の駅Daizahoushi」グランドオープン記念式典を行う。	
	5月 1日	鶴賀消防署豊野分署が開署する。	
2023	12月 1日	長野市パートナーシップ宣誓制度を導入。	
	5年2月 1日	一般財団法人ながのこども財団を設立する。	
	3月 31日	信更中学校が閉校する。	
	4月 2日	長沼保育園新園舎が完成、開園式を実施する。	
	22日	茶臼山動物園「ライオンの丘」がオープンする。	
	5月 8日	新型コロナウイルス感染症が5類に移行する。	
	6月 2日	ながのスマートパワー株式会社を設立する。	
	10月 1日	「長野市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例」を施行する。	
	21日	ながの若者スクエア「ふらっとり」がオープンする。	
	11月 1日	「みらいハッ!ケン」プロジェクトの利用を開始する。	
2024	22日	都市ブランドデザインを決定する。	
	6年3月 22日	長野市役所階遊美術館がオープンする。	
	31日	信更小学校、七二会中学校が閉校する。	
	4月 6日	SaSaLANDがオープンする。	
	5月 10日	市内初のワイナリーが篠ノ井有旅に誕生する。	
	6月 3日	こども誰でも通園制度の利用を開始する。	
	7月 28日	ながノビ!がオープンする。	
	8月 3日	豊野防災交流センターがオープンする。	
	10月 10日	南部勤労者活躍支援センターがオープンする。	
	14日	茶臼山スケートパークがオープンする。	

(注) 「…」は月日不詳

資料 企画課、広報広聴課『広報ながの』

## 長野市の主な災害

西暦	年 月 日	おもな災害
1179	治承3年3月24日	善光寺金堂・諸堂全焼
1268	文永5年3月6日	善光寺伽藍一切焼失。本尊かろうじて運び出す。
1313	正和2年3月22日	善光寺焼ける。
1427	応永34年3月6日	善光寺諸堂塔婆ことごとく焼失
1468	応仁2年7月20日	大洪水、連日の豪雨により赤沼（長沼村の集落）の大堤小堤の間の水、幾日も乾かず。
1474	文明6年6月4日	善光寺諸堂焼失
1477	9年6月24日	善光寺本堂焼失、前立本尊破損
1550	天文19年8月……	長沼村大洪水、弧塚の人家現在地に移る。大町の証各寺・徳乗寺水害のため町屋敷へ移転。暴風雨に加えて氷塊が降り長沼神社大破
1615	慶長20年3月30日	善光寺本堂が雷火によって焼失
1620	元和6年8月11日	千曲川洪水、塩崎村は水防のため沿岸に楊柳を植える。
1628	寛永5年6月12日	（松代）東条村山崩れ、人家流失73棟、死者158人
1642	19年5月9日	西町より出火。善光寺本堂に延焼、西方寺、寛慶寺類焼
1650	慶安3年9月1日	千曲川増水、塩崎村にて1丈3尺（約3.9m）家屋浸水し水田被害多し。
1660	万治3年8月……	犀川洪水、綱島村高73石の地、荒地となる。
1662	寛文2年8月1日	千曲川・犀川洪水、真島村・川合村浸水し被害あり。
1670	10年6月8日	千曲川増水、塩崎村にて増水1丈2尺（約3.6m）被害あり。
1671	11年7月2日	千曲川洪水、塩崎村にて増水1丈4尺、水田荒れ浸水家屋多し。
1680	延宝8年7月9日	千曲川洪水、八幡村町裏（現千曲市）に浸水、塩崎村増水1丈6尺（約4.8m）沿岸の水田荒れ、家屋浸水多し。
1688	貞享5年5月18日	東之門町より出火。同町の大部分、寛慶寺・横町等78軒焼失
1696	元禄9年8月……	犀川洪水、綱島村高180石5斗8合の地、荒地となる。
1699	12年1月11日	大勸進焼失
1700	13年7月21日	下堀小路より出火。町家180軒、寛文再建（1666年）の本堂、普請工事の良材ことごとく焼失。如来は西方寺に遷す（7月22日の説あり）。
1701	14年8月……	千曲川・犀川大洪水、青木島村鍛冶沼部落流亡し、住民四散、綱島村高396石8斗6升7合の地、荒地となる。
1703	16年9月23日	横町より出火。岩石町・新町・伊勢町・東之門町・法然堂町等焼失
1705	宝永2年5月1日	西之門町より出火。大本願・諸院坊・東之門町・伊勢町・新町等焼失
	6月23日	横沢町住、代官竹原又右衛門邸放火で全焼、代官焼死
	7月8日	犀川・千曲川洪水、真島村凡天浦の堤防破れ、濁流四ッ橋、西沖、蔵王沖等に浸水し被害あり。
1706	3年2月1日	西町より出火。北は藤屋、南は西方寺、東は広小路にて止まる。
1707	4年6月22日	石堂町西光寺全焼
	8月13日	善光寺現本堂完成、本尊が西方寺より御帰座
	9月4日	（松代）松代大地震おき、家屋80余軒倒壊、死者が出る。11月東海道の大地震起こり、富士山噴火し宝永山できる。
1713	正徳3年11月9日	大門町より出火。東町康楽寺まで延焼
1714	4年3月15日	半時（一時間）の内に4度震動し、善光寺の二天門（境内入口にあった門）の東西の石垣ことごとく崩れ善光寺本堂少し破損、石塔みな倒れる。
1715	5年6月10日	夜中、桜小路（現桜枝町）より出火。西之門町・横沢町に延焼、町家62軒、衆徒9ヵ院焼失
1717	享保2年2月29日	（松代）日中、表柴町湯本邸より出火。柴町・馬場町・紺屋町・殿町等193軒、寺院2、城中本丸・二ノ丸・三ノ丸焼失（湯本火事）
	4月3日	（松代）昼過ぎ袋町関口邸より出火。木町・伊勢町・荒神町・肴町等149軒、神社1、寺院4焼失（関口火事）
1722	7年5月6日	（松代）龍泉寺客寮より出火。本堂・庫裏等焼失
1723	8年8月10日	千曲川洪水、塩崎村松節堤防決壊し、畑地流れる。
1724	9年4月11日	（松代）大英寺客殿・庫裏等焼失
1730	15年3月19日	新田町より出火。同町の半分焼失
1731	16年4月3日	千曲川増水（5月18日）、塩崎村で増水1丈5尺被害あり（亥年の大水害）。
1732	17年8月24日	（松代）紙屋町より出火。8軒焼失
1733	18年8月7日	（松代）荒町より出火。御安町・伊勢町全焼、殿町一部類焼（荒町火事）

西暦	年 月 日	おもな災害
1737	元文2年6月2日	夜中、西町より出火。大門町・東町・横町・岩石町・東之門町・伊勢町・新町・法然堂町、町家541軒、衆徒7院焼失。焼死者3人
1739	4年4月8日	(松代)伊勢町より出火。烈風のため木町・中町・穀町全焼、鍛冶町の片側全焼、松代町枢要の町家街を焼失、損害多し。
1742	8月…… 寛保2年8月1日	犀川洪水、綱島村高450石6斗余の地、荒地となる。この時、明桂寺流失 台風が運んだ集中豪雨、松代領を中心とする善光寺平の182カ村で田畑冠水、山抜け多く、流れ屋1,731軒、潰・半潰1,111軒、流死1,220人、流馬64頭、用水堰埋没等の被害甚大。松代城内床上浸水6尺～1丈、藩主舟で西条村開善寺へ避難(寛保戌の大満水)
1744	4年2月14日	(松代)田町より出火。藩士邸の他鍛冶町東側一帯焼失(田町火事)
1745	延享2年1月15日 3月……	日中、岩石町より出火。類焼7軒、潰家2軒 笹平村大火災。42軒焼失
1751	寛延4年2月19日 4月26日	昼頃、西之門町桜小路桜屋より出火。北西の風激しく吹き、善光寺町における空前の大火災となり、全町ほとんど丸焼けとなる。寺院、民家土蔵共1,478軒焼失、焼死者1人(桜屋火事) (松代)越後・信濃大地震、松代領内に潰家、死者、山抜け等の被害出る。松代城の石垣・堀が崩れる。幕府より10カ年賦で3千両借用。善光寺町早朝から地震
1752	6月3日 宝暦2年6月17日	東町より出火。21軒焼失 西後町西側より出火。後町・問御所村等で60余軒焼失
1754	4年6月2日	横町より出火。横町・岩石町・新町・伊勢町等119軒焼失
1757	7年5月1日	(～5日)1日から5日に至る大雨で千曲川・犀川大洪水、塩崎村で増水1丈5尺人家60軒泥土侵入、犀川沿岸の丹波島村・青木島村等に被害多し、同年末松代藩は、幕府に収穫高半減を報告、1万両借用生活困窮者を救い、復旧工事を起こす。
1760	10年3月28日 4月22日	東町康楽寺より出火。北東の風厳しく東町・権堂・田町・大門裏、問御所村十念寺に飛び火し、善光寺領、他領(松代領等)共575軒焼失 東町分下堀小路より出火。東町・横町・大門町・西之門町等で427軒焼失。西之門町惣左衛門・勘兵衛共に塗屋(上蔵造)のため、両家南側にて消し止める。
1763	6月4日 13年5月22日	横町より出火。同町29軒焼失。この時も塗屋は防火に功を奏した。 西町大門裏より出火。西町へ延焼35軒焼失
1765	明和2年4月15日	(～16日)犀川・千曲川大洪水、沿岸被害多し、真島村常円寺流失。松代藩幕府より1万両借用翌3年より犀川・千曲川沿岸の堤防修築する。
1772	9年2月……	(松代)西条村法泉寺焼失
1773	安永2年4月7日 15日	西之門町より出火。北風厳しく、西之門町・桜小路・阿弥陀院町・立町・西方寺その他すべて283軒焼失 西条村清水寺門前十王堂焼失
1775	4年8月8日	千曲川洪水、塩崎村で堤防崩れ、鎌成(かまなり)堂前川欠(流失)となる。
1779	8年4月1日	(松代)御安町蓮乗寺より出火。烈風のため侍屋敷38棟、足軽家屋102棟、百姓家27棟、寺5ヶ寺、神社1を焼失(蓮乗寺火事)
1780	9年2月10日	(松代)昼、柴町渋谷家より出火。河原町全焼(渋谷火事)
1785	天明5年4月19日	西之門町より出火。寺院3、民家5軒焼失
1788	8年6月11日	(松代)伊勢町河内屋より出火。伊勢町、木町、中町、荒神町、鏡屋町、鍛冶町、肴町等残らず焼失。同時に代官町からも出火(河内屋火事)
1789	寛政元年6月17日	(～19日)千曲川・犀川大洪水丹波島村・真島村で25軒流失、綱島村高110石6斗余の地、荒地となる。浄円寺罹災のため小島田村の現住地へ移転
1792	4年2月14日	伊勢町より出火。6軒焼失
1800	12年4月17日	(松代)片羽町(現伊勢町)市場家より出火。伊勢町・中町・荒神町等町家、数百軒焼失 (市場火事)
1801	享和元年5月24日	横沢町より出火。181軒焼失。難渋者に領主(大勸進・大本願)より金子を貸し出し、又軒別に白米1斗ずつ与える。

西暦	年 月 日	おもな災害
1807	文化4年6月 1日	(～7日) 1日の朝から大雨、藩主参勤交替のため松代表を出発、雨激しく鼠宿(坂城町)に逗留。千曲川・神田川の堤防決壊し、松代町及び沿岸各村大洪水。4日雨止み5日藩主江戸に向う。7日犀川堤防決壊、大塚・小島田・下氷鉋辺りまで一面の湖水となる。
1812	9年10月23日	西町より出火。西町・天神町にて73軒類焼。領主(大勸進・大本願)より靱百俵を出して、207竈へ分け与える。
1823	11月20日 文政6年8月……	横沢町より出火。16軒焼失。類焼の者へ領主より白米1斗ずつ与える。千曲川・犀川大洪水、四ツ屋村犀川堤防決壊し、丹波島村・青木島村・中旬真島村を濁水貫通被害多し。
1824	7年8月15日	千曲川洪水、西寺尾村の七分通り床上浸水、田畑作物皆無
1828	11年6月30日	(～7月1日)(松代)暴風雨。千曲川氾濫、各所で堤防決壊、千本柳(現千曲市)、栗佐(現千曲市)、松代等に田畑浸水、家屋流失の被害あり。
1847	弘化4年3月24日	北信を中心とした大地震。善光寺町の焼失家屋300軒、死者約1,500人、旅人千人余(寺領のみ)を出し26日昼ごろ鎮火。更級郡岩倉山(虚空蔵山)崩壊、犀川を堰止める。湛水面積約9.7km <sup>2</sup> (諏訪湖14.4km <sup>2</sup> )20余カ村に被害が及び浮き上がった家600余軒
	4月13日	岩倉山の堰止め箇所一気に崩壊、犀川大洪水。松代領内の家屋流失・潰1400余軒、水死22人、田畑被害村数80カ村。幕府より1万両借用し、復旧工事や被災者の救済に充てる。
1852	嘉永5年4月14日	13日の真夜中、西後町より出火。東後町・権堂に延明行寺にて焼け止まる百軒以上焼失
	12月 9日	大勸進より出火。表の方大部分焼失
1853	6年5月 1日	(松代)城内花の丸より出火。殿閣全焼、金5,300両(小判・分金・弍朱金等)及び銭多数、伝家の宝物を多く失う。
1854	7年11月 4日	諸国で地震多発、(松代)松代付近に被害集中、城下町・在方合わせて全壊152軒(城下町132軒)、半壊576軒(城下町316軒)、土蔵・物置等の全半壊多く、寺社・城内に大破・倒壊の被害が出る。
1855	安政2年7月29日	(～8月1日)千曲川洪水、塩崎村255軒、西寺尾村34軒浸水、3日間の浸水により作物の収穫皆無となる。
1859	6年7月25日	(～26日)千曲川洪水、塩崎村で増水1丈5尺。二ツ柳・御弊川・会・小森・東福寺民家浸水数百軒、田畑被害甚大
1861	文久元年7月 3日	(松代)肴町から出火。同町を大半焼失中町・鍛冶町等へも延焼、焼失家屋61軒(肴町火事)
1864	元治元年8月 9日	(26～28日)8月9日、26～28日千曲川洪水、西寺尾村の人家5分通り(半数)床上浸水し、田畑作物皆無
1866	慶応2年5月15日	9日より雨降り止まず裾花川氾濫、15日岡田の土手切れ、中御所・栗田・千田方面大洪水
1868	4年4月18日	犀川・千曲川共に洪水、西寺尾村浸水100戸、麦作流失。真島村の堤防600間(約1km)根底より流失
1870	明治3年3月13日	(七二会)瀬脇村赤坂組住居14戸・堂2カ所焼失
1872	5年5月15日	(松代)長国寺より出火。田町・代官町等204戸、6カ寺焼失(長国寺火事)
1873	6年10月 9日	(松代)城内花の丸再び火災、全焼
1876	9年5月 3日	塩崎村山崎31棟焼失
	9月 7日	千曲川大洪水、塩崎村松節堤防決壊し全戸数900余のうち200戸余に浸水
1882	15年10月 1日	千曲川大洪水、塩崎村松節堤防決壊し、田畑冠水し家屋639戸浸水(七二会)洪水で犀川船橋用の舟3艘(1艘75円)夜中に流失
1887	20年12月22日	県会議事堂午前4時30分出火、焼失(前日落成)
1889	22年9月12日	千曲川洪水、塩崎村松節堤防決壊し、田畑250余町歩に冠水、角間・山崎・平久保130余戸浸水
1891	24年4月24日	(松代)東条村字中条より出火。南東の風激しく、東条村・松代町・西条村の1町2ヶ村で全半焼680戸。焼死3人・負傷7人
	5月 4日	東之門町より出火。伊勢町・岩石町・元善町の一部に延焼、戸数59、棟数約200を焼失
	6月 2日	西之門町から出火。桜枝町・西之門町・下西之門町・元善町・城山等で265戸棟数500以上が焼失。この火災で仁王門、大本願、上水内高等小学校、長野尋常小学校(現城山小学校敷地)など焼失
1895	28年12月25日	芋井村上ヶ屋字平約20戸焼失

西暦	年 月 日	おもな災害
1896	29年7月21日	千曲川・犀川本支流共に大洪水、松節堤防決壊により塩崎村で流失1、浸水508戸。関屋川・神田川堤防決壊し、松代町・西条村等で田畑・家屋の流失あり潰55、浸水1,347戸
1897	30年1月17日	綿内村・川田村から上高井郡下に発生した地震、以後1年間に350回にわたって余震あり。
1898	2月20日 31年9月7日	(七二会) 瀬脇円通奄(忠恩寺の前身) 聖観音像と共に焼失 豪雨により各地で大洪水。松代町及び周辺諸村は神田川・関屋川及び千曲川の氾濫で、家屋、田畑の流失・浸水の被害大。千曲川の洪水で塩崎村は平坦部全域に浸水。寛保2年(1742年)以来の大水害という。
1906	39年6月10日 7月16日	古里村信叟寺本堂庫裏焼失(正徳4年浅川氾濫のため現地へ移転) (~28日) 千曲川洪水、川柳・栄・東福寺・西寺尾・真島の各村に耕地、家屋の流失・浸水等の被害あり、赤坂橋・栗佐橋など流失
1907	40年4月13日 8月15日	(松代) 寺尾村大室106戸焼失 (~24日) 15日千曲川大増水、沿岸の諸村に浸水。24日大洪水、川柳・東福寺・西寺尾の3ヶ村で床上295戸・床下288戸浸水、翌日も減水せず、焚出米を皆舟で送る。2回の水害で赤坂・寺尾・栗佐・小島田・関崎の5橋流失
1908	41年2月29日 5月10日 22日	七二会村倉並地すべり、全壊2戸・半壊5戸・破損25戸・田畑約17.6町・宅地1.9町・山林原野1.3町等であるが、各所に大亀裂が生じている。 長野県庁焼失 長野県師範学校(現信大教育学部)の講堂・体操場など8棟焼失。同年6月15日日本館など2棟焼失。
1910	43年8月10日	(11日、14日、15日) 全国的な大雨、千曲川氾濫し各所で堤防決壊により塩崎・川柳等の各村で潰825床上浸水1,990戸、死者1人。屋島橋付近の堤防決壊し朝陽・柳原・長沼の3カ村浸水で一面湖水と化す。
1911	44年8月3日	(~5日) 3日以来の雨で湯福川の上流葛山で山抜け発生、4日夜半土石流となって、塩沢鉱泉を襲い、湯福神社から東之門町、岩石町等に流入、権堂境の鐘鉢川で止まる。 聖川堤防決壊し塩崎村で床上53、床下218戸に浸水、5日午後3時ころ犀川の出水で丹波島橋流失する。
1912	45年4月17日	七二会村倉並で住宅6棟、土蔵・納屋4棟、社殿1棟焼失
1913	大正2年3月8日 5月24日	往生地浄土宗中学林(別称第三教校・通称坊主学校)焼失 長野県会議事堂全焼、安茂里村平柴に飛び火3戸、山林3反歩焼失
1914	3年8月13日	千曲川洪水、塩崎村浸水家屋433戸
1916	5年5月10日	(若穂) 保科村清水寺・民家140棟焼失
1917	6年3月23日 7月25日 10月1日	南西の暴風雨、夜西長野町より出火8棟18戸焼失、損害約5,000円 (七二会) 坪根11戸22棟(総戸数32)、穀類180石焼失 千曲川洪水、塩崎村被害145戸に浸水
1923	12年9月1日	(関東大震災) 関東全域、静岡県、山梨県の一部に災害発生、死者・行方不明13万人余、焼失・全半壊家屋70万余戸、罹災者340万余人、損害約65億円。県下の被害、全壊家屋45戸・半壊17戸、死者なし
1924	13年12月12日	(松代) 町立松代実業学校本館二階建校舎ほぼ全焼
1926	15年4月20日	共和村小松原火災、南からの烈風で居宅(149棟)・伊勢社焼失、焼死者2人・負傷者80人・消防組員職務上の死亡1人・同負傷者50人。損害見積額150万円。安茂里村小市の山林に飛び火
1927	昭和2年12月27日	古里村役場より出火。役場建物・古里小学校2階建校舎1棟及び体操場(8間×6間)全焼。損害額約7万円。長野市常備消防の自動車ポンプ出動
1929	4年4月21日	(七二会) 暴風雨災害、全半壊住宅(非住家を含む)・七二会消防組瀬脇部火の見梯子の倒壊その他を含め合計325件11,200円の被害
1931	6年7月25日	(七二会) 6月初旬以来の降雨により地滑り、田畑約9町5反崩壊、61,500円の被害、他に水車1棟倒壊、2棟危険状態(7月25日報告)
1934	9年5月9日 9月21日	古里村富竹、西栄寺全焼し住宅6戸焼失 室戸台風による風被害、塩崎村長谷観音蛇杉、康楽寺鐘桜倒壊する。
1936	11年4月19日	芋井村麓原一の倉溜池(現飯綱湖)雪解け水満水となって堤決壊、達橋川を流れ下り、橋を残らず流失させ裾花川へ押し出す。

西暦	年 月 日	おもな災害
1937	12年7月27日	(茂菅) 集中豪雨により葛山中腹山抜け、山津浪となって善白鉄道まで押し出し、死者1人を出す。
	28日	北信一帯に豪雨、湯福川の堤防決壊し濁流は箱清水・横沢町・西之門町などを呑み、さらに鐘鑄川と合流して諏訪町・権堂町などへ氾濫、住宅流失5、全壊19、床上153、床下790戸浸水、湯福神社社殿半壊
1939	14年4月15日	午後8時半頃、芋井村論電ヶ谷池(現存せず)決壊、濁流は浅川流域の中曾根・檳田等の集落を襲い死者19人(消防組員1人感電死)。流失家屋9戸(住家4)、浸水83戸、約20町歩の田畑を埋める。
	7月21日	県立長野高等女学校(現長野西高校)南・中校舎・宿直室等焼失
1941	16年7月15日	(長沼地震) 15日23時45分に発生、地震の規模M6.2。被害は長沼・若槻・神郷・古里・浅川・柳原・豊洲(現須坂市)の村々及び長野市北東部を含む狭い(直径約10km)範囲。死者5、傷者18人。住家全壊29・半壊115、非住家全壊48・半壊22。各地で多くの石塔が転倒
1944	19年12月14日	長野商業学校火災、同年12月26日、21年7月16日、22年3月25日火災あり、ほとんど焼失する。
1945	20年6月5日	古里村三才約30戸焼失
	8月13日	(長野空襲) 米艦載機により長野飛行場・工機部・鐘紡工場等が爆撃・機銃掃射を受け民家も被害を被る。全焼全壊62戸・半焼半壊28戸、死者37人(47人説あり)・負傷者54人
	10月5日	(~12日) 県下全域に豪雨・強風あり、各地で鉄道寸断・橋梁流失・堤防決壊・道路損壊・田畑浸水、流失の被害続出。死者行方不明者32人。川中島平北部で薩摩芋73万貫(約2,737.5t)が流失、新聞は連日薩摩芋の被害状況を報告。12日青木島村綱島地籍で堤防決壊
	19日	七瀬 市立長野中学校(現市立長野高等学校の前身)全焼、損害額180万円
1946	21年2月25日	北石堂町 長野日赤寄宿舍焼失、焼失建坪260、損害額約100万円 若里 長野工業専門学校木造2階建校舎全焼、損害額約80万円
1948	23年1月14日	長野県庁2棟全焼、損害額750万円
	6月1日	城山小学校新校舎(第6校舎)より出火、焼失、損害額530万円
1949	24年2月6日	蔵春閣・城山館全焼、被害総額1,600万円
	6月20日	(~23日) デラ台風による豪雨で県下の各河川増水、犀川鉄橋から600m下流の犀川堤防の右岸(丹波島地籍)50mほど決壊
	8月17日	浅川村清水16戸(全戸数29)19世帯全焼
	31日	(~9月1日) キティ台風による暴風雨被害は千曲川流域に集中。堤防決壊により日野村(村山)、豊洲村(相之島)、倒壊流失家屋3、浸水657戸、田畑浸水500余町歩、中小家畜全滅、両村は泥海状態。千曲川に架かる栗佐橋・赤坂橋等が流失、岩野橋・更埴橋撤去。長野市の損害軽微
	9月23日	県下一円に豪雨、雨量は戸隠村・鬼無里村などに集中、裾花川増水し九反地籍と岡田地籍の2ヶ所で堤防決壊、市内南部の九反・荒木・中御所・若里・大豆島村・朝陽村等に浸水、長野市内で家屋の流失全壊56・半壊浸水2,000戸・被災者11,000余人、死者2人
1950	25年8月4日	(~5日) 東北信を襲った豪雨で死傷者49人、家屋全壊・流失87戸。千曲川洪水で塩崎、小島田、東福寺などで家屋、田畑の浸水被害、赤坂橋など木橋撤去
1952	27年4月17日	(松代) 埴科郡豊栄村牧内から出火。風速10m、南東の風にあおられ松代町瀬関・船若寺の両集落に燃え広がり居宅全焼32棟・半焼4棟・損害約3,000万円の見込み
	7月14日	梅雨前線による県下全域に大雨、塩崎村で聖川、山沢氾濫。西長野において家屋全壊1棟、茂菅地籍において家屋半壊2棟、流失3棟、床上浸水2棟。古牧・五分一、一円田畑冠水55町歩 (七二会) 七二会村狸尾等の地籍で地滑り確認(実況報告)
1953	28年9月25日	(~26日) 台風13号により県下全域に被害甚大。塩崎村で聖川異常出水し、県道より下流の堤防決壊する。
1955	30年1月3日	西後町(株) 川中島自動車事務所1棟全焼
1957	32年3月26日	旭町 長野家庭裁判所1棟全焼、損害見積額約160万円
1958	33年9月18日	台風21号による大雨被害は北東信に集中、千曲川増水により更北村小島田、中沢沖において左岸堤防へ溢水し、付近住宅に浸水する。

西暦	年 月 日	おもな災害
1959	34年1月23日 8月14日 9月26日 12月12日	中御所(株)高橋製作所加工部作業所から出火。2棟全焼 台風7号の被害、県下全域に及び、損害総額226億円。千曲川の増水で更北村小島田中沢沖に溢水。犀川は川合地籍、丹波島地籍に被害 (~27日)台風15号(伊勢湾台風)、県下全域で損害総額94億円を出す。北信地方では千曲川沿いに強風が吹き、坂城町では瞬間風速50m/sの風雨に襲われ、死傷者、家屋倒壊の被害を出す。若穂町は強風でリンゴの落果が多く、27日同町の綿内小中学校体育館倒壊 信更村宮平10棟焼失
1960	35年8月22日	末広町(株)ナカジマ弁当店木造2階建1棟全焼、損害見積額2,730万円
1961	36年6月23日 30日 11月30日	(~7月1日)昭和36年梅雨前線豪雨、大雨と地滑りで県有史以来最大の人的被害、死者107、不明29、重軽傷者1,164人。長野市内の被害、田畑の冠水約1,250ha、被災世帯数2,078戸。千曲川増水で27日落合橋・屋島橋等の木橋を撤去、丹波島橋上流500mの地籍で堤防決壊 小市橋流失(昭和10年10月18日渡り初めの吊橋) 上千歳町丸光百貨店一部焼失、損害見積730万円
1962	37年7月13日 10月2日	北信地方に激しい雷雨。午後6時から西条地区の山間部に短時間に167mmを記録する豪雨が襲う。崩れた土砂は人家に流れ込み、神田川の堤防が西条表地区で決壊、東条地区でも洪水。建物、農作物の被害総額5,000万円、罹災害5,313人、同夜災害救助法発令(西条地区集中豪雨災害) 川中島駅前製の粉工場から出火。農協倉庫・昼工場・材木店、民家など工場14棟全焼、民家1棟半壊
1963	38年2月18日 22日	中御所九反(株)裾花映画劇場1棟・(株)斎藤繊維4棟全焼、隣接の建物1棟半焼、1棟部分焼、死傷者4人、損害金額合計6,757,580円 権堂町長野観光ホテル2棟、キャバレー1棟全焼。民家の一部を焼く、損害額約1,430万円
1964	39年7月10日 9月24日	裾花小学校中校舎木造2階建1棟全焼、渡り廊下半焼 (~12日)県下全域に梅雨前線豪雨、綱島野球場(NTT信越更北グランド北側)堤防決壊 (~25日)台風20号大雨と強風で県下全域を襲い総額399億円の被害を出す。北信地方は強風によりリンゴの落果多く、上高井地方(含若穂町)では栽培面積の約50%、3,000トン以上のリンゴ落果。豪雨で丹波島裏の堤防(現三本柳東一丁目付近)決壊
1965	40年5月22日 25日 8月3日	(芋井)大字桜字松久保5世帯7棟全焼 損害額約826万円 早苗町信濃木工企業組合全焼、損害見積額約1,540万円 (~45年6月)松代町周辺で群発地震が発生し、終息する45年6月(5日終息宣言)未までに有感地震62,821回、震度5が9回、4が50回、負傷者15人、住宅全壊10戸・半壊4戸・山崩れ60件
1967	42年4月13日 5月28日 8月26日	篠ノ井布施高田(株)西沢スキー篠ノ井工場焼失、損害額約2,500万円 吉田東町(株)養田木工製材工場全焼、損害額1,105万円 停滞前線により北信一帯大雨、長野市内1時間最大降水量24mm、堀切川沿い175戸、鐘鋳川沿い35戸に床下浸水あり
1970	11月29日 45年6月5日 8月23日	上千歳町音楽茶房白鳥1棟全焼、損害見積額約1,150万円 (~6日)長野市・須坂市中心に住宅浸水383棟。大雨・雹によるリンゴ野菜等農作物1,735haその他に総額8億2,683万円の被害を出す。 (~24日)北・中信に大雨・雹・雷発生、長野市内1時間の降水量59mm、23日権堂中心に水害発生、床上7、床下283戸浸水、地下式立体交差ガード通行不能3カ所、24日床上1、床下556戸浸水
1971	46年1月4日 9月6日	川中島中学校体育館全焼、損害額約800万円 (~7日)秋雨前線による大雨、県下全域の被害総額82億6,271万円。長野市内床下99戸浸水、公共土木施設76カ所に被害あり。
1972	47年7月23日	若里長野紡績工場から出火、木造モルタル平屋約240㎡全焼、製品・機械・建物を合わせて被害総額約2,000万円
1973	10月8日 48年4月4日 5月1日 7月2日	高田市立桜ヶ岡中学校耐火3階建校舎、1階より出火1教室焼失 七瀬国鉄長野工場用品庫全焼、損害額約700万円 東之門町長野演芸館全焼、損害額約1,320万円 低気圧の影響で北・中信に大雨、長野市北部一帯床上18、床下769戸浸水、公共土木施設等115カ所に被害あり。

西暦	年 月 日	おもな災害
1973	11月25日	問御所町(株)水庫酒造場、倉庫1棟半焼・住宅1棟部分焼、損害額2,057万円
	12月31日	七瀬町(株)長野デニム工業、2階建工場1棟全焼・事務所1棟半焼、損害額6,500万円
1974	49年1月21日	篠ノ井布施高田 篠ノ井高等家庭学園校舎1棟全焼、損害額約1,600万円
	7月11日	(～19日)梅雨前線豪雨県下全域に及ぶ。市全域で床上1、床下39戸浸水、地滑り5カ所、公共土木施設122カ所、その他に被害
1975	50年6月10日	県下一円に大雨・降雹、市全域で床下浸水88戸、公共土木施設44カ所、その他に被害
	7月12日	梅雨前線豪雨により県下全域に131億600万円の被害、市全域で床下浸水21戸、公共土木施設62カ所、その他に被害
1976	51年2月18日	県町(株)深堀被服工業1棟全焼、類焼2棟、死者2人
	6月14日	梅雨前線は北・中信に大雨を降らせ、市全域で床下浸水45戸、公共土木施設58カ所、その他に被害
	9月9日	台風17号による大雨、全県の被害総額49億4,500余万円。長野市全域で床下浸水48戸、公共土木施設68カ所、その他に被害
1977	52年2月23日	高田 市立三陽中学校2階建校舎半焼(5教室)
1979	54年1月26日	新田町 糺屋材木店倉庫3棟、他10世帯全半焼、損害額約2,400万円
	30日	北石堂町 錦会館2階建1棟(バー13店舗入居)全半焼損害約2,000万円
	5月26日	篠ノ井塩崎 5棟全焼、損害額約1,200万円
	6月3日	県下全域に大雨、鐘鑄川沿い住宅床下浸水56戸
	7月10日	北信一帯に大雨、吉田・三輪・古牧・上松等で浸水68戸
	8月22日	(～23日)県下全域で大雨、浅川地区(門沢・西平・北郷)で道路落壊3カ所、床下浸水5戸。裾花川長安橋下流400m地点で護岸70m決壊、右岸50m地点で30m決壊
	23日	善光寺大本願奥書院等焼失。焼失面積838㎡、損害額約9,500万円
1980	55年8月14日	北信一帯に大雨。芋井・浅川・三輪地区等に集中豪雨、床上1、床下106戸浸水
1981	56年8月22日	(～23日)台風15号は県下全域に総額406億円余の被害出す。市内で家屋一部損壊1、浸水1,022戸(松代・若穂地区合わせて763戸浸水、特に松代温泉団地の被害甚大)、農作物の被害総面積390ha、公共土木関係被害243件、長野市の被害総額23億6,000万円余
1982	57年8月2日	台風10号は県下全域を襲い、被害額1,105億3,865万円。千曲川は昭和56年の台風15号を上回る出水、篠ノ井・松代・若穂・更北地区の河川敷に冠水、農作物ほぼ全滅、強風でりんごの落下全市的におよぶ。負傷者4人、家屋一部損壊15棟。長野市の被害総額24億1,540万円余
	9月10日	(～12日)台風18号と秋雨前線が重なり県下全域で強風、大雨襲来。千曲川の水位上昇で中小河川溢れ、長野市全域で床上450、床下511戸浸水、家屋一部損壊3棟、負傷者3人、道路・河川の決壊329カ所、その他に被害
1983	58年4月10日	吉田4丁目(株)藤澤製作所1棟(331㎡)全焼、損害額約850万円
	8月7日	(～10日)県下全域で大雨、雹による被害。市内は連続の豪雨で中河川氾濫、市街地で床上9、床下812戸浸水
	9月27日	(～28日)台風10号は2日間で県全域に130mm以上の豪雨を降らせ、総額1,717億円余の被害。市内全域で床上454、床下419戸浸水、家屋損壊12棟
1984	59年5月20日	栗田(株)新光電気栗田工場一部焼失 損害額2,700万円
1985	60年1月28日	志賀高原に向かう三重交通スキーバス、国道19号線大安寺橋南詰から犀川に転落水没、乗車総員46人の内、日本福祉大学生等25人死亡、重軽傷8人
	3月1日	中御所(株)長野県生薬木造1階建倉庫半焼、損害額(生薬)7,030万円
	6月30日	(～7月1日)台風6号と梅雨前線豪雨で、県下全域の被害総額464億円余。犀川増水、真島町川合地籍で堤防洗堀、市内各所で小河川溢水
	7月26日	地附山南斜面で地滑り発生、養護老人ホーム松寿荘2階建延べ面積6,634.1㎡全壊、死亡26人(病院で死亡1人)・重軽傷者4人。団地住宅全壊50(内埋没33戸)半壊5、一部損壊9人、人的被害なし。
	8月17日	篠ノ井塩崎 康楽寺落雷で本堂1棟全焼、損害額約2,300万円

西暦	年 月 日	おもな災害
1987	62年4月18日	(林野火災)北郷字葉山ブランド薬師公園山林内で、焚き火の放置から山林7万㎡焼失、物置1棟全焼、損害額460万円(4月6日から5月12日までの間、林野火災11件発生、延1,200a焼失)
	4月21日	(~23日)火災警報発令(4月21日13:00~4月23日9:00)
	9月26日	篠ノ井御幣川(株)田毎メリヤス第1工場半製品置場1棟全焼、損害額約1億1,200万円
	11月30日	旭町 信教印刷榎木造2階建作業棟半焼、損害額約1億4,500万円
1988	63年6月22日	篠ノ井西寺尾 エノキ栽培小屋3棟全焼
1991	平成3年1月24日	(~2月17日)浅川畑山 ワイエス商会産業廃棄物処理場の廃棄物から出火、消火作業は2月17日までの25日間におよぶ。
	6月11日	小島(株)竹村製作所工場半焼、損害額約5,700万円
1994	6年2月14日	信更町虚空蔵山中腹、涌池五輪林沖の地滑り、長さ150m 深さ5~10m(35,000㎡)の土砂崩落。5世帯に避難勧告
	21日	川中島町(株)コヤマ鋳鉄工場地下電気室火災、損害額3,059万円
	8月1日	(~31日)異常気象(記録的な高温小雨)で火災多発、31日間で火災30件、枯草等の燃えたもの37件
1995	7年7月8日	(~13日)11日午後から12日昼頃にかけて県北部を中心に集中豪雨、更水10ヵ町村では堤防決壊等33ヶ所、家屋の全壊47・半壊151戸、床上170・床下325戸浸水、被害額約168億円。特に鳥居川下流の豊野町浅野地区、関川沿い信濃町高沢地区は甚大な被害を被る。長野市では浅川、裾花川、犀川、岡田川の堤防洗堀、溢水など水害21ヶ所、土砂災害36ヶ所、家屋全壊2・半壊2・一部損壊3戸、床上5・床下5戸浸水、道路等に甚大な被害あり、損害額10億円余(平成7年7月梅雨前線豪雨災害)
1996	8年4月1日	(~5月31日)異常気象(小雨・乾燥)により火災多発。4月・5月の2ヶ月で火災50件、枯草等の燃えたもの41件
	27日	更埴市生萱 林野火災取材中のヘリコプター2機が空中接触、墜落大破、うち1機が炎上、搭乗員6人全員死亡
1997	9年3月10日	松代町東条 JA グリーン長野松代工機センター倉庫2棟全焼、損害額2,894万円
	4月6日	屋島 倉庫1棟、事務所1棟、作業所全焼、損害額2,821万円
	12月9日	大豆島 食堂1棟全焼、損害額2,418万円
1998	10年2月7日	大豆島 フラワーパークトトロ作業所1棟全焼、損害額2,094万円
	5月12日	(~6月11日)篠ノ井消防署管内国道18号沿線、放火火災多発のため、放火火災2号予防警戒体制を引く。
	9月22日	台風7号による強風で建物の一部損壊、倒木及び千曲川沿いの果樹に被害、損害額15億円余
1999	11年9月28日	篠ノ井下石川地滑り災害発生
	12月31日	権堂町、店舗ウリハウスなど3棟全焼、損害額2,710万円
2000	12年3月15日	篠ノ井会 江戸時代建立の曾山地蔵寺全焼、本尊の焼失は免れる。
	5月1日	大豆島 長野市清掃センターでゴミの中のクロロピクリンがピット内に拡散する。
	6月29日	北尾張部 住宅敷地内でモナザイトが発見される。
	7月5日	鶴賀緑町で昭和36年に布設された500ミリ水道管が破裂し、国道19号線が冠水、8,000世帯が赤水となる。
2001	13年1月28日	篠ノ井御幣川 4階建て共同住宅で爆発火災により負傷者6名、7棟が被害
	4月10日	小島 きのご培養室から出火し約530㎡焼損、損害額約6,172万円
	22日	安茂里小市でたき火の放置から山林に延焼し、出動消防車両60台延出動人員約2,500人、長野県消防防災ヘリの他応援協定に基づき群馬、山梨、埼玉、新潟各県の消防防災ヘリ及び自衛隊ヘリ2機が消火にあたるも3日間に渡り燃え続け、山林約28haを焼失、損害額約510万円
2002	14年3月21日	火災警報発令(13:20~18:30)。枯草火災を主とし火災等6件、風災害による屋根等の剥離及び小屋等の倒壊22件
	6月30日	坂中三登山(株)ホンダ開発産業廃棄物置場から出火、2日間に渡り燃え続け、家屋解体廃棄物約1,400㎡焼失、重機等焼損
	7月21日	風間(株)マルモ青木味噌醤油醸造所部分焼、損害額約6,520万円

西暦	年 月 日	おもな災害
2002	9月 1日	若穂川田でたき火が風にあおられ山林内に延焼拡大し、出動消防車両 54 台、延出動人員 499 人、長野県消防防災ヘリの他応援協定に基づき群馬、山梨、岐阜、埼玉各県の消防防災ヘリ及び自衛隊大型ヘリ 2 機が消火にあたり 3 日後に鎮火、山林約 18ha を焼失、損害額約 256 万円
	10月 17日	若槻東条で倉庫火災、損害額約 4,424 万円
2003	15年6月 3日	伊勢宮で事務所放火火災により 1 人焼死、3 棟及び車両 6 台類焼
	7月 31日	昭和 43 年以来、35 年ぶりに 7 月の月間火災件数がゼロを達成した（7 月 1 日から 31 日まで）。
	12月 31日	年間の林野火災件数がゼロを達成した。（昭和 28 年の統計開始以来初）
2004	16年2月 29日	信州新町上条 作業所併用住宅 1 棟全焼、損害額約 3,381 万円
	7月 9日	若里 榊みすずコーポレーション北工場内のおから乾燥粉砕機から出火、収容物焼損、損害額約 1,731 万円
	10月 9日	信更町安庭地籍で長さ約 200m、幅約 100m にわたり地滑りが発生、レストラン、住宅各 1 棟全壊及び国道 19 号線も崩落する。1 世帯に対し避難指示、3 世帯に対し、避難勧告を発令する。
	20日	（～21 日）台風第 23 号の上陸に伴い、20 日の一日降水量が 124.5 mm と 1889 年以降最高を記録、このため浸水や土砂崩れ等甚大な被害が全市的に発生、262 件の災害出動に消防職団員延べ 1,785 人が出動
2005	17年5月 14日	市指定有形文化財の「矢澤家の表門」全焼（類焼による）
	8月 28日	篠ノ井御弊川 大平観音堂全焼、類焼により 2 棟全焼
2006	18年7月 15日	（～24 日）15 日から 19 日に掛け県下で記録的な豪雨、被害額約 557 億円。長野では 17 日から 19 日までの累計降水量 161 mm を記録。管内では 18 日～21 日に掛け、河川の溢水 25 件、土砂崩落 11 件、倒木等 4 件が発生、警戒等を含めた 278 件に消防職団員延 1,690 人（職員 770、団員 920）が出動（平成 18 年 7 月豪雨）
	10月 30日	（～11 月 30 日）鶴賀周辺・長沼・柳原周辺地域、放火火災多発のため放火火災 2 号予防・警戒体制を執る。（9 月 28 日～鶴賀周辺）（10 月 10 日～長沼・柳原周辺）
	11月 16日	鶴賀権堂町 黒田会館 1 棟全焼、死者 1 人
2007	19年5月 8日	篠ノ井布施高田で㈱イトウ精麦、マイクロナイザー工場棟を半焼、損害額約 1,069 万円
	7月 16日	新潟県中越地震が発生、震度飯綱町 6 強、長野市 5 強を観測。人的被害は長野市で重軽傷 3 人、飯綱町 3 人、住宅被害は長野市で一部半壊 15 件、飯綱町 142 件
2008	20年3月 2日	西長野で街区火災による住宅 1 棟全焼、13 棟類焼（損害額約 4,893 万円）
2009	21年1月 1日	戸隠スキー場リフト緊急停止、約 70 名の搭乗者 1 時間 20 分後全員救助完了
	2日	東和田と世田神社全焼、4 棟類焼
	22日	信濃町のホテルで集団救急が発生し 35 名搬送
	3月 29日	小島田町入西寺 1 棟全焼
	7月 17日	（～12 月 8 日）放火火災多発のため、放火火災 2 号予防・警戒体制を執る。（7 月 17 日～8 月 12 日 川中島地域）（10 月 6 日～12 月 7 日 東福寺地域）（10 月 30 日～12 月 8 日 中央署管内全域）
2010	22年7月 16日	（～17 日）信更、篠ノ井地区などで集中豪雨、土砂崩落や土石流浸水等の被害が発生。59 件の災害事案に消防職団員延べ 844 人が出動。
	10月 3日	上ヶ屋地籍で、マラソン中にハチ（キイロスズメバチ）刺されによる集団救急が発生し、33 名搬送
	11月 23日	若里 旧パチンコ店舗 1 棟 半焼（損害額約 1,556 万円）
2011	23年2月 13日	篠ノ井東福寺十一面観音堂 1 棟全焼 3 棟類焼
2012	24年7月 20日	記録的な豪雨（3 時間降水量の日最大値 73 mm、日最大 24 時間降水量 120 mm 共に長野气象台で観測史上 1 位を更新）により、古牧地区の一部に避難勧告発令、市内で床上浸水 14 棟、床下浸水 126 棟
2013	25年1月 17日	飯綱町大字牟礼 徳満寺 2 棟全焼 1 棟部分焼
	5月 15日	津野 八幡神社 1 棟全焼
2014	26年2月 17日	2 月 14 日からの積雪による転倒などにより、1 日の救急出動件数が、112 件と昭和 39 年の救急業務開始以降最多となる。

西暦	年 月 日	おもな災害
2014	11月22日	長野県神城断層地震が発生。震度は長野市、小川村6弱、信濃町5強、飯綱町5弱を観測。人的被害は重軽傷が長野市12人、飯綱町2人、信濃町1人、小川村1人。住宅被害は全壊が長野市4棟、小川村2棟、半壊が長野市40棟、小川村11棟、一部損壊が長野市1,138棟、飯綱町11棟、小川村197棟
2015	27年5月18日	松代町で建物火災による住宅及び空家、物置 全焼4棟、半焼1棟、部分焼5棟、ぼや3棟 合計13棟焼損（損害額約1,643万円）
	12月31日	年間の林野火災件数がゼロ件を達成
2016	28年5月5日	鬼無里 体験交流施設 奥裾花温泉鬼無里の湯 部分焼（別館全焼）
2017	29年11月15日	戸隠 旧ホテル戸隠 1棟全焼（損害額約3,500万円）
2018	30年4月1日	真島町 畳店の火災により全焼4棟、4棟類焼（損害額約7,473万円）
	6日	若穂綿内でたき火が風にあおられ山林に延焼拡大し、出動消防車両41台、延出動人員約250人、須坂市消防本部の出動消防車両2台、延出動人員4人、応援協定に基づき群馬、山梨、埼玉各県の消防防災ヘリ及び自衛隊ヘリが消火にあたり、約5時間後に鎮火、山林約4.5ヘクタールを焼失
2019	31年1月5日	南石堂町 ラーメン店から出火 全焼1棟、部分焼2棟（損害額約3,000万円）
	4月4日	長野市資源再生センターの不燃物集積ピットから出火、延出動消防車両39台、延出動人員287人、約78時間後に鎮火
	令和元年10月12日	「令和元年東日本台風」により、長野市北部の長沼・豊野・古里地区、南部の篠ノ井・松代・若穂地区を中心に、千曲川堤防の決壊や越水、河川等の内水氾濫による浸水被害が発生。死者2名、重傷者2名のほか、床上浸水約2,400棟、床上浸水約1,600棟、浸水面積1,541ヘクタールに及ぶ。活動人員は、12日から16日までの5日間で延べ489隊1,477人。長野県消防相互応援隊（8消防本部）は、13日から16日までの4日間で延べ91隊314人。緊急消防援助隊は、13日から15日までの3日間で統括指揮支援隊（東京消防庁）延べ2隊8人、陸上部隊（新潟県大隊15消防本部）延べ141隊507人、航空部隊は、13日から14日の2日間で延べ8隊（機）52人
2022	4年9月6日	上野三丁目で建物火災による住宅、空き家及び物置 全焼11棟、部分焼2棟、ぼや5棟合計18棟焼損（損害額1,658万円）

(注) 「…」は日不詳

資料 長野市消防局『消防年報』